

令和 6 年度 栃木県こどもモニター
第 4 回アンケート結果
(高校生～22 才)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第4回アンケート期間

令和7年1月8日（水曜日）から2月7日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

185 名

5. 第4回アンケート回答者数

104 名

6. 第4回アンケート回答率

56.2%

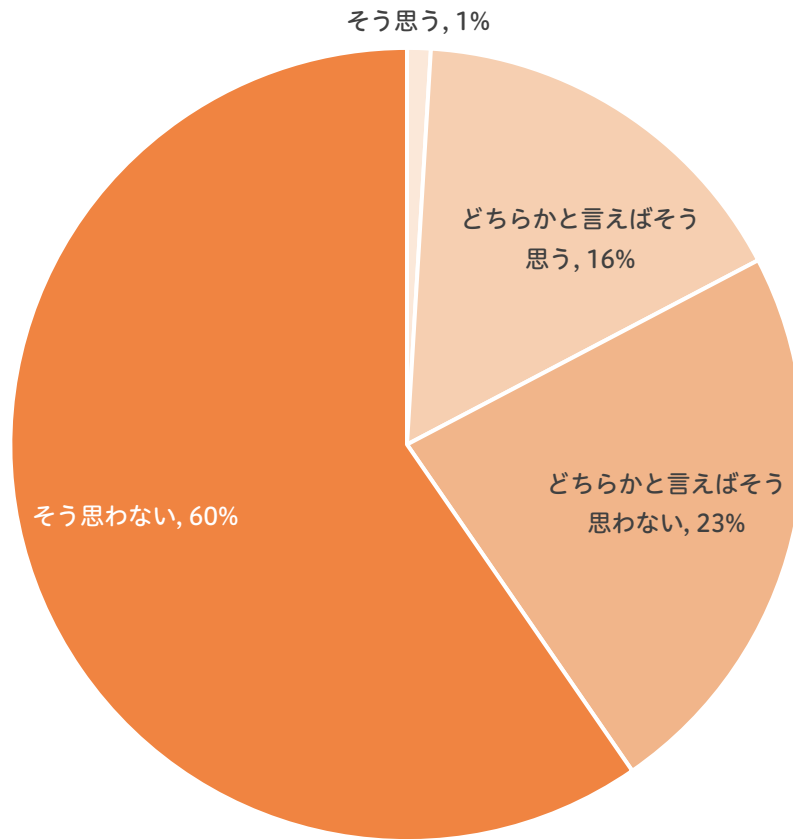
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	50	32	30.8%	64.0%
女性	133	72	69.2%	54.1%
その他	2	0	0.0%	0.0%
合計	185	104	-	56.2%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
高校 1 年生	27	23	22.1%	85.2%
高校 2 年生	94	37	35.6%	39.4%
高校 3 年生	12	11	10.6%	91.7%
16 才	2	0	0.0%	0.0%
17 才	2	0	0.0%	0.0%
18 才	5	1	1.0%	20.0%
19 才	11	10	9.6%	90.9%
20 才	17	11	10.6%	64.7%
21 才	13	9	8.7%	69.2%
22 才	2	2	1.9%	100.0%
合計	185	104	-	56.2%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が 100.0%にならないものがあります。

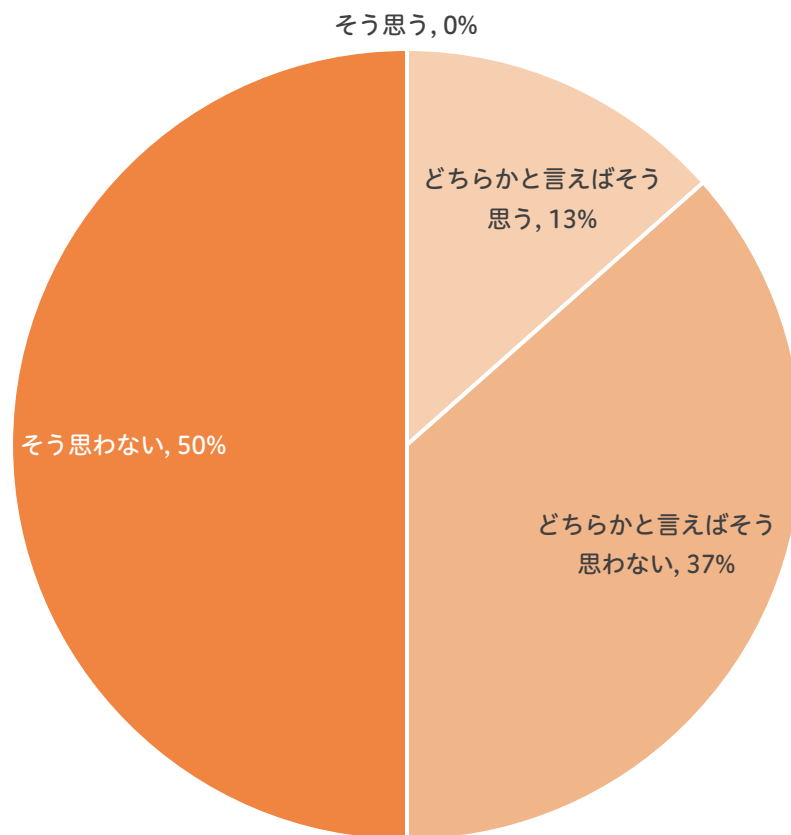
Q1.男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(60%)と「どちらかと言えばそう思わない」(23%)を合わせると、8割以上の方が「男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だ」と思っていない結果となった。

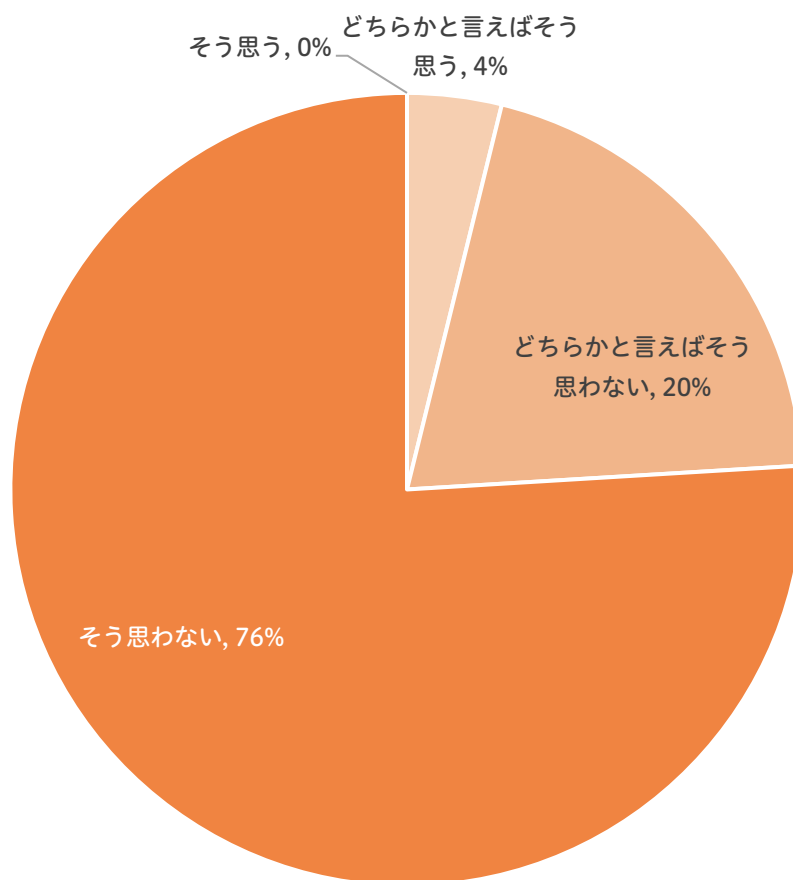
Q2.共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(50%)と「どちらかと言えばそう思わない」(37%)を合わせると8割以上の方が、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」と思っていない結果となった。

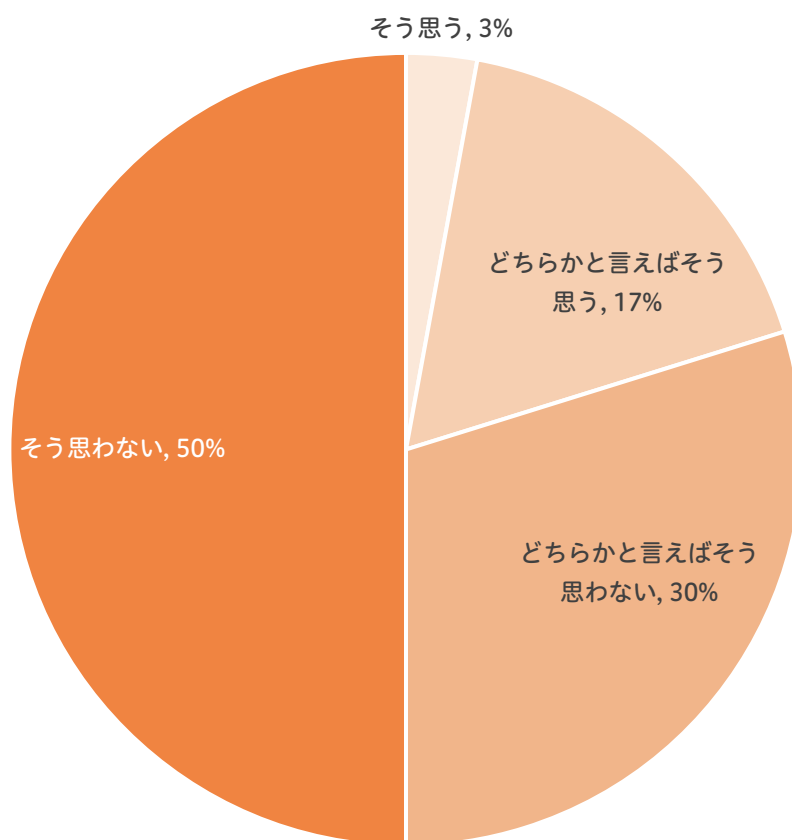
Q3.職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(76%)、「どちらかと言えばそう思わない」(20%)から、9割以上の人々が「職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ」と思っていない結果となった。

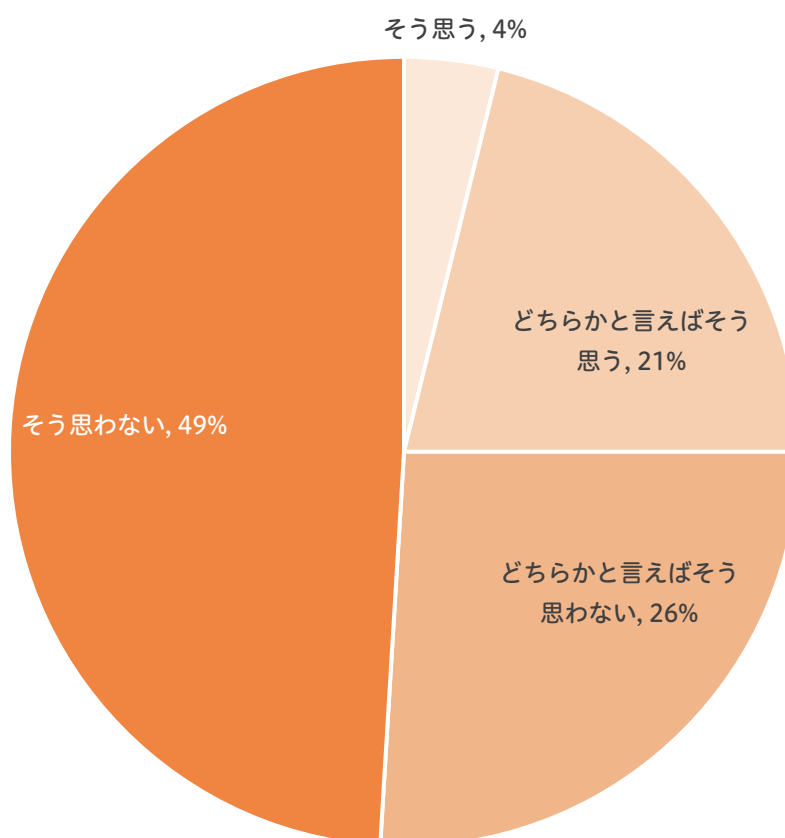
Q4.女性は結婚して家庭に入る方が良いと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(50%)、「どちらかと言えばそう思わない」(30%)から、8割の人が「女性結婚して家庭に入る方が良い」と思っていない結果となった。

Q5.PTA には、女性が参加するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(49%)、「どちらかと言えばそう思わない」(26%)から、7 割以上の人々が「PTA には、女性が参加するべきだ」と思っていない結果となった。

Q6.県では、こどもたちの心と体の健やかな成長などの支援のための計画をたてています。この計画が作られる理由などを皆さんに伝えるための簡単なリーフレットの作成をしていますが、表紙のデザインは、どれが良いと思いますか。



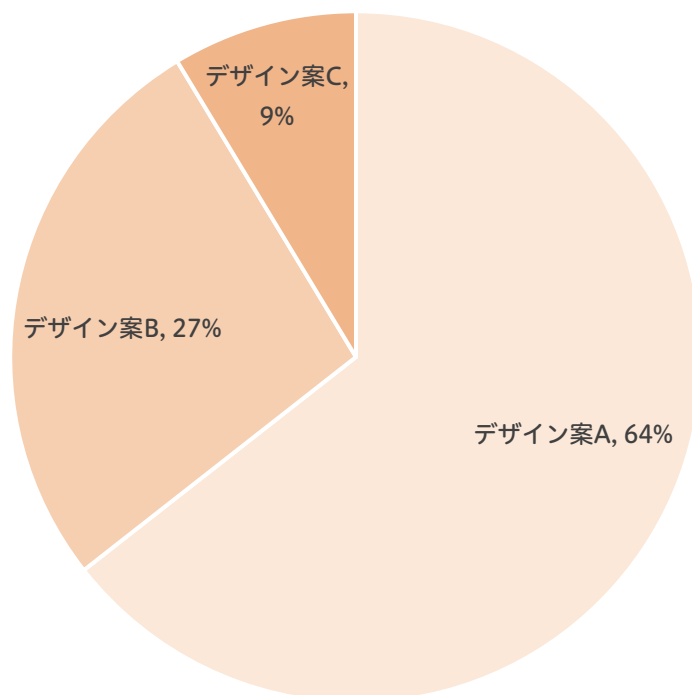
デザイン案A



デザイン案B



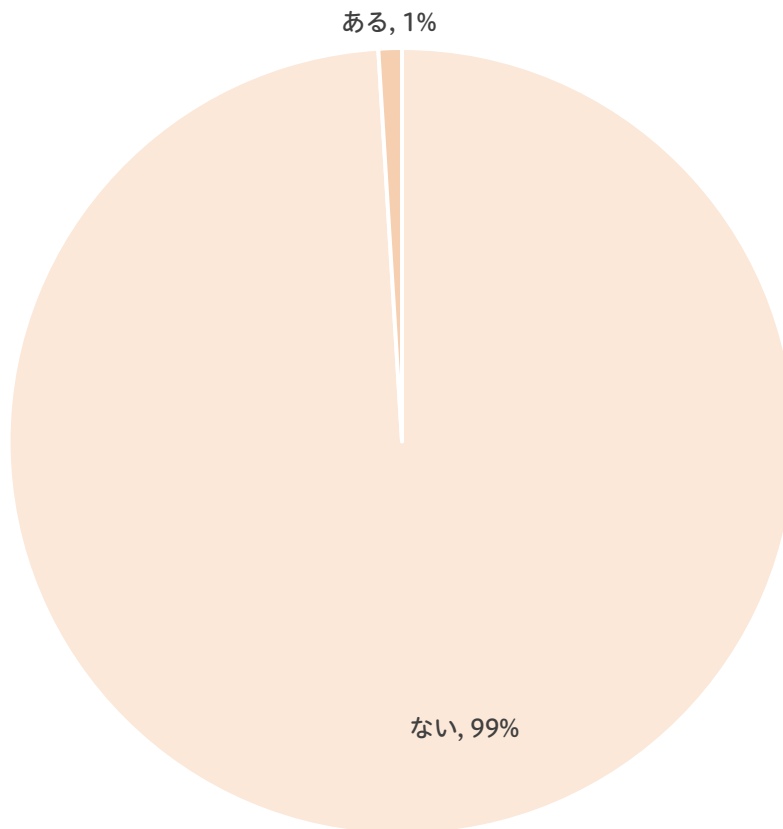
デザイン案C



【調査結果の概要】

「デザイン案 A」が 64%と最も多く、続いて「デザイン案 B」が 27%、「デザイン案 C」が 9%という結果となった。

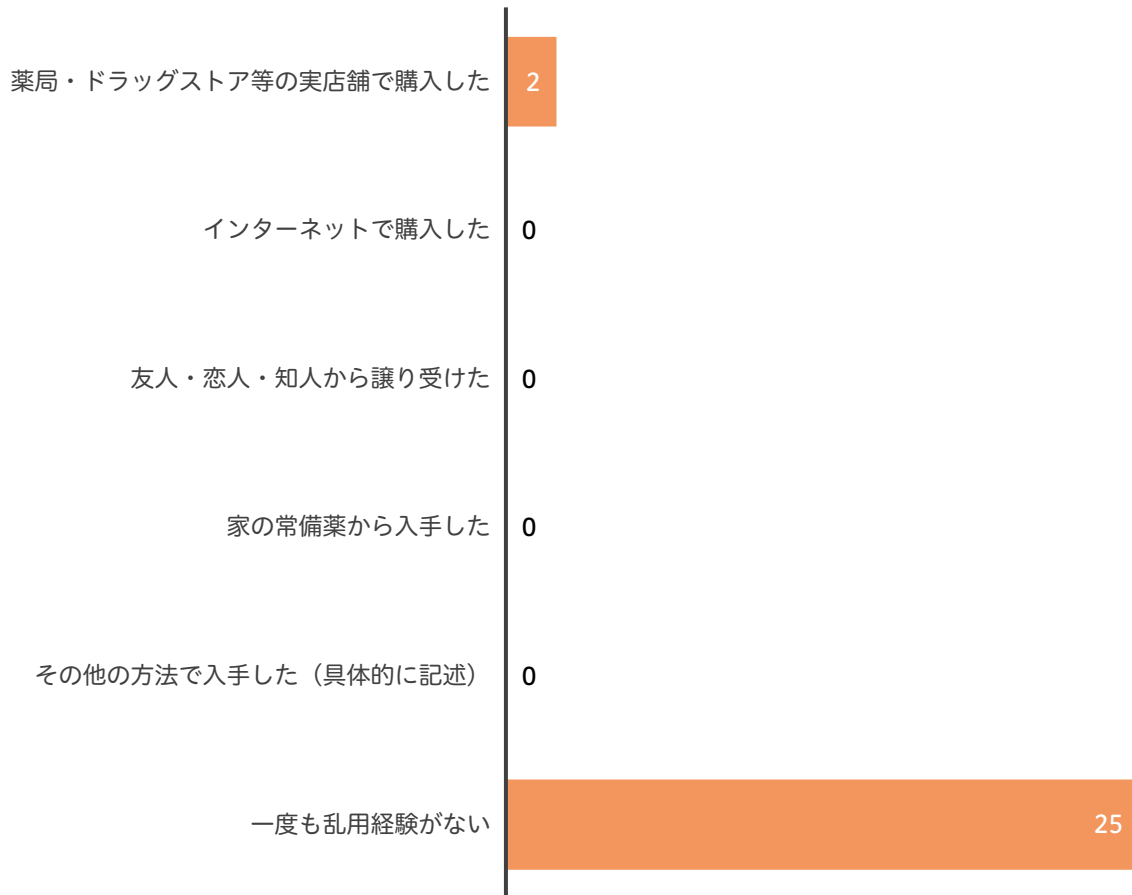
Q7.この1年間に、あなたは市販の咳止め薬、風邪薬、解熱鎮痛薬を乱用目的（治療目的ではなく）で使用した経験がありますか。ここでいう乱用目的とは、「ハイになるため、気分を変えるために決められた量や回数を超えて使用すること」と定義します。



【調査結果の概要】

「ない」が99%と大半を占めており、「ある」が1%という結果となった。

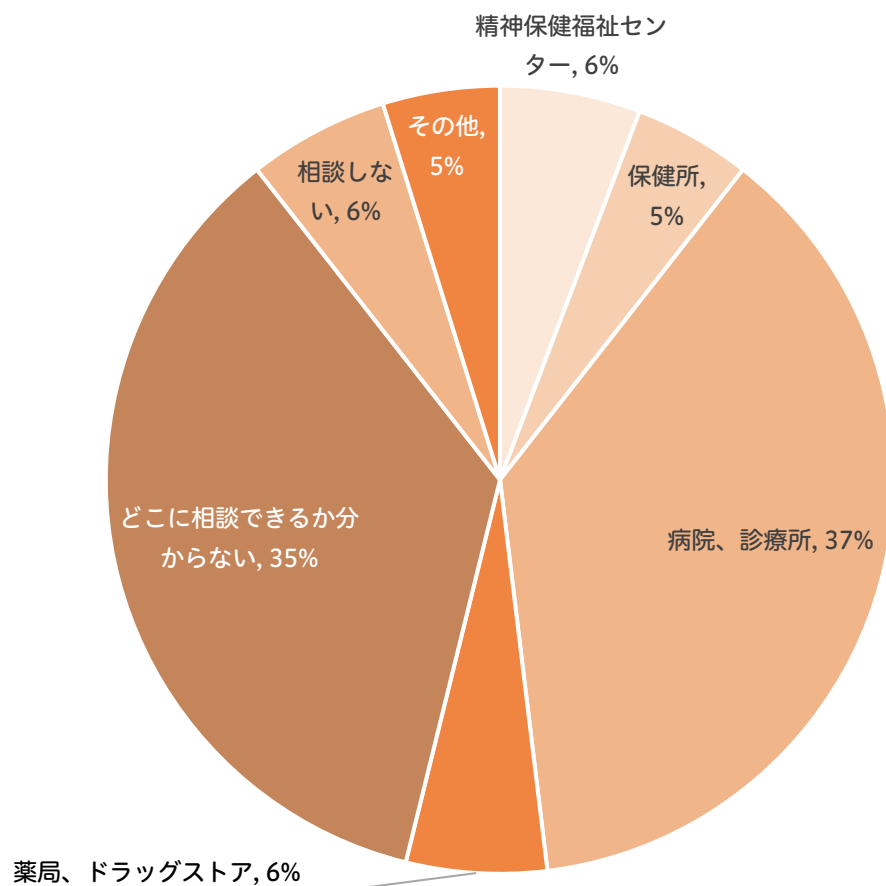
Q8.この1年間に、市販薬の乱用経験がある人のみお答えください（Q7で「ある」と回答した人）。乱用に用いた市販薬をどのように入手しましたか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

「一度も乱用経験がない」（25 件）が特に多く、続いて「薬局・ドラッグストア等の実店舗で購入した」（2 件）となっている。

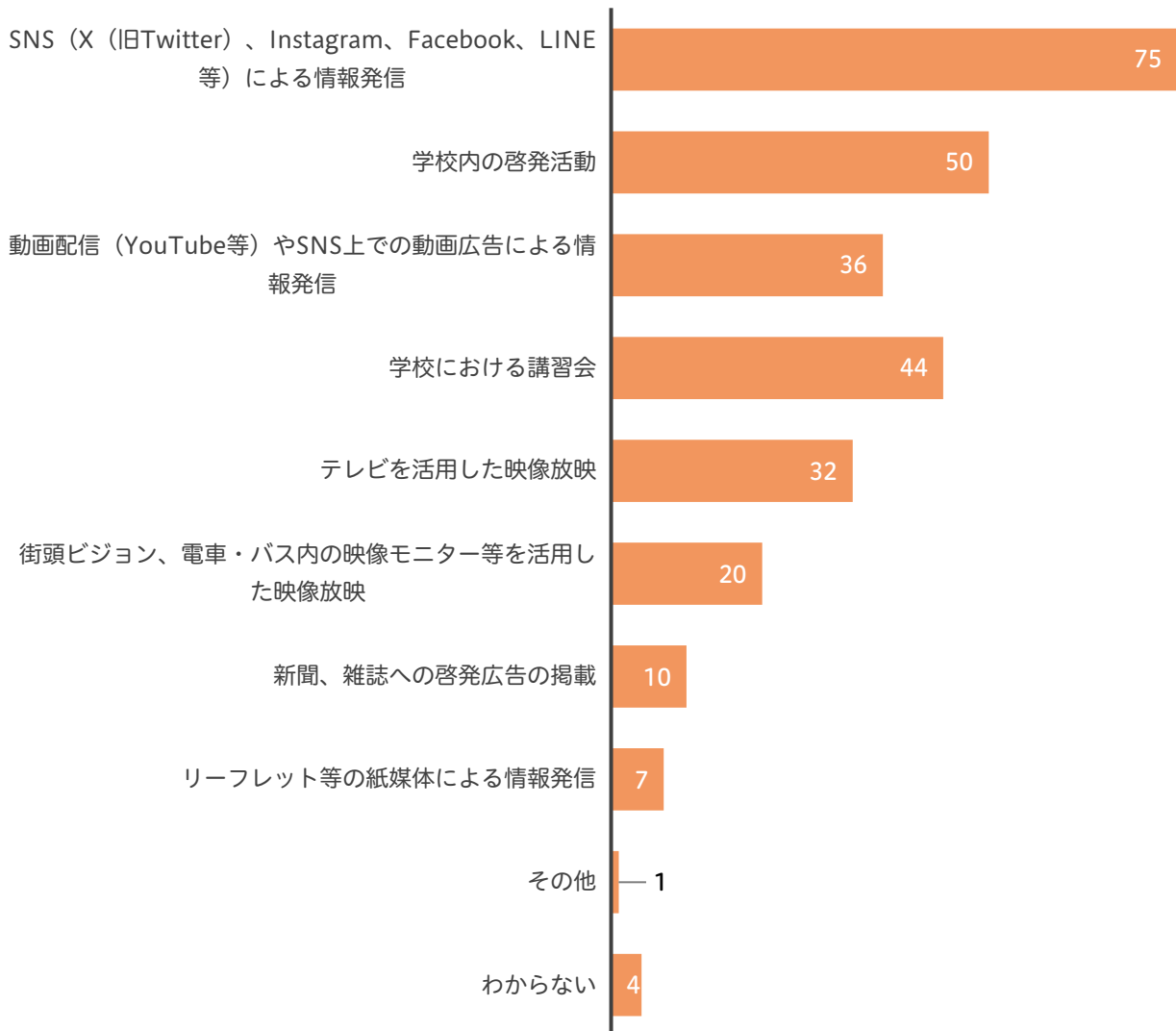
Q9.あなたは、自身または周囲の人が市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関することで困った時、どこに相談しますか。次の中から1つ選んでください。



【調査結果の概要】

「病院、診療所」(37%)と「どこに相談できるか分からない」(35%)が特に多く、続いて「精神保健福祉センター」、(6%)「薬局、ドラッグストア」(6%)、「相談しない」(6%)が同数となっている。

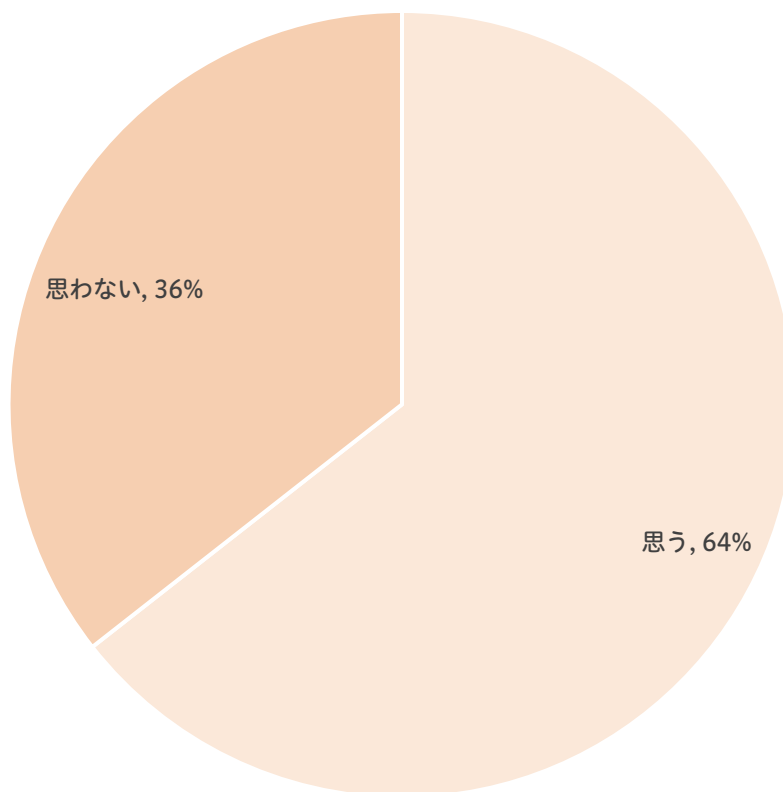
Q10.市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関する啓発活動について、若者の心に響き、印象に残る啓発をするには、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

「SNS（X（旧Twitter）、Instagram、Facebook、LINE等）による情報発信」（75件）が最も多く、以下に「学校内の啓発活動」（50件）、「学校における講習会」（44件）、「動画配信（YouTube等）やSNS上での動画広告による情報発信」（36件）と続いている。

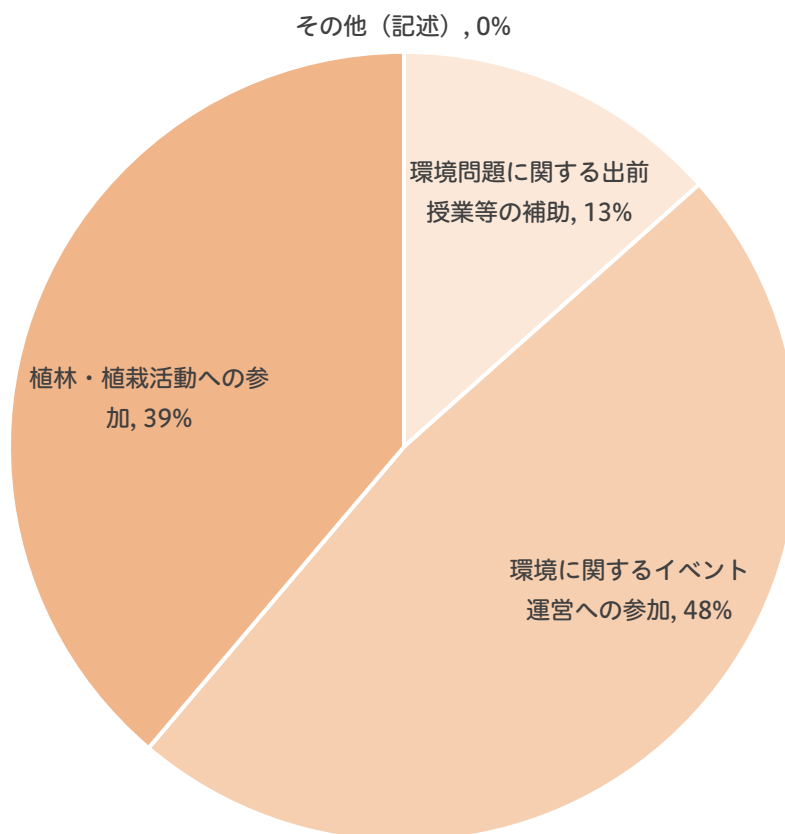
Q11.県では、地域において地球温暖化対策に関する活動を行うボランティアを募集しています。ボランティアに参加してみたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「思う」が 64%、「思わない」が 36%という結果となった。

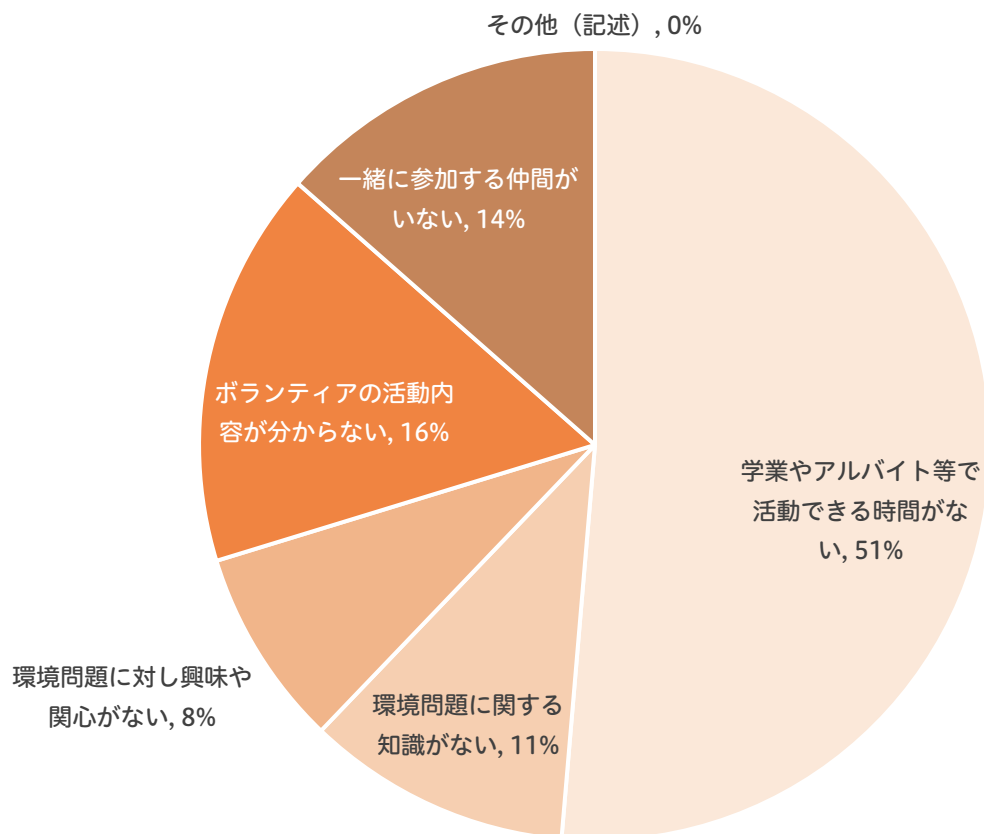
Q12.「Q11」で「思う」と回答した方にお聞きします。ボランティアとしてどのような活動をしてみたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「環境に関するイベント運営への参加」(48%)が最も多く、続いて「植林・植栽活動への参加」(39%)、「環境問題に関する出前授業等の補助」(13%)となっている。

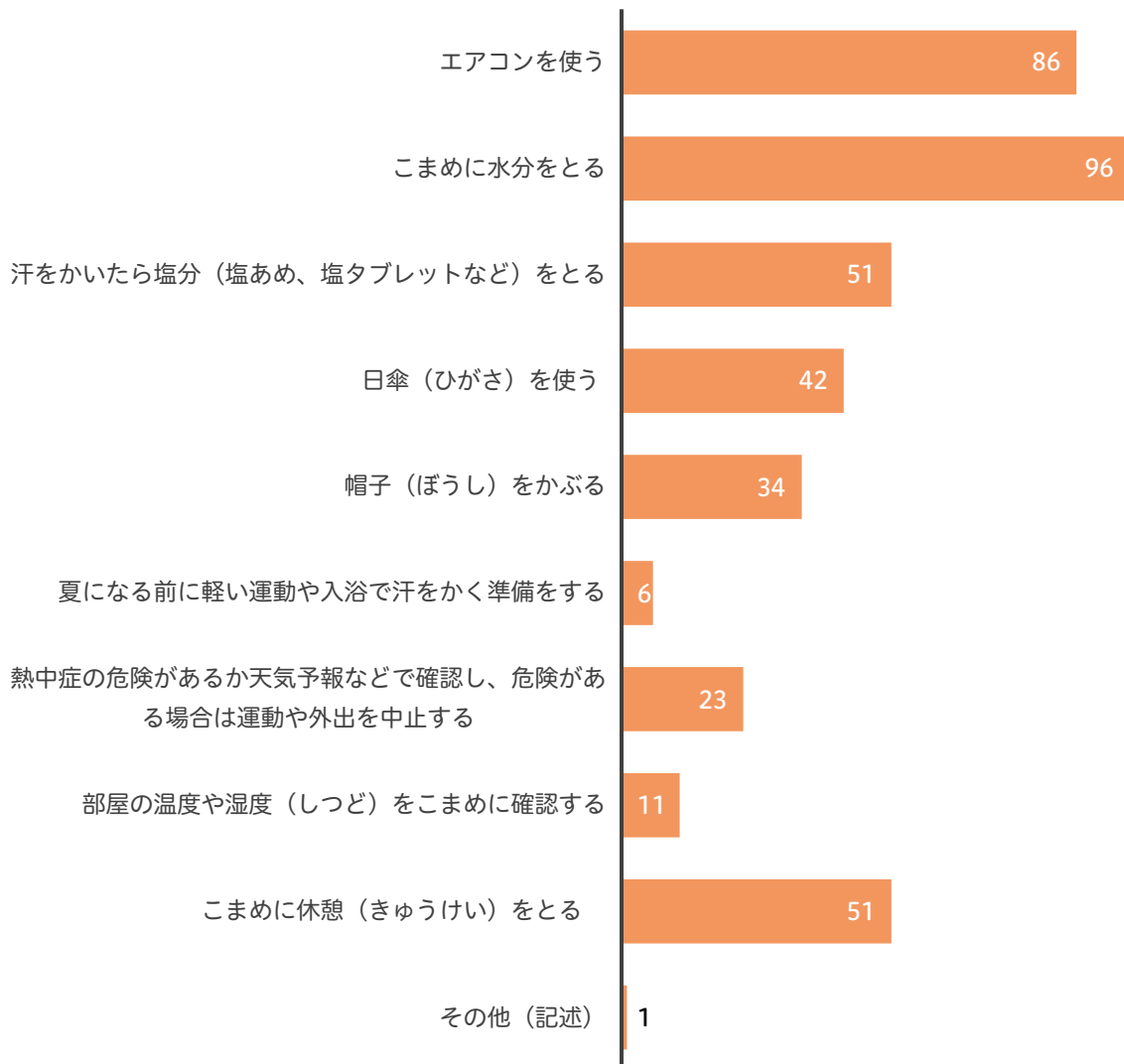
Q13.「Q11」で「思わない」を選んだ方に質問します。参加したいと思わない理由は何ですか。



【調査結果の概要】

「学業やアルバイト等で活動できる時間がない」(51%)が約半数を占めており、以下に「ボランティアの活動内容が分からない」(16%)、「一緒に参加する仲間がいない」(14%)、「環境問題に関する知識がない」(11%)と続いている。

**Q14.あなたは熱中症予防のため、どのような対策を行っていますか。
【いくつでも選んでください】**



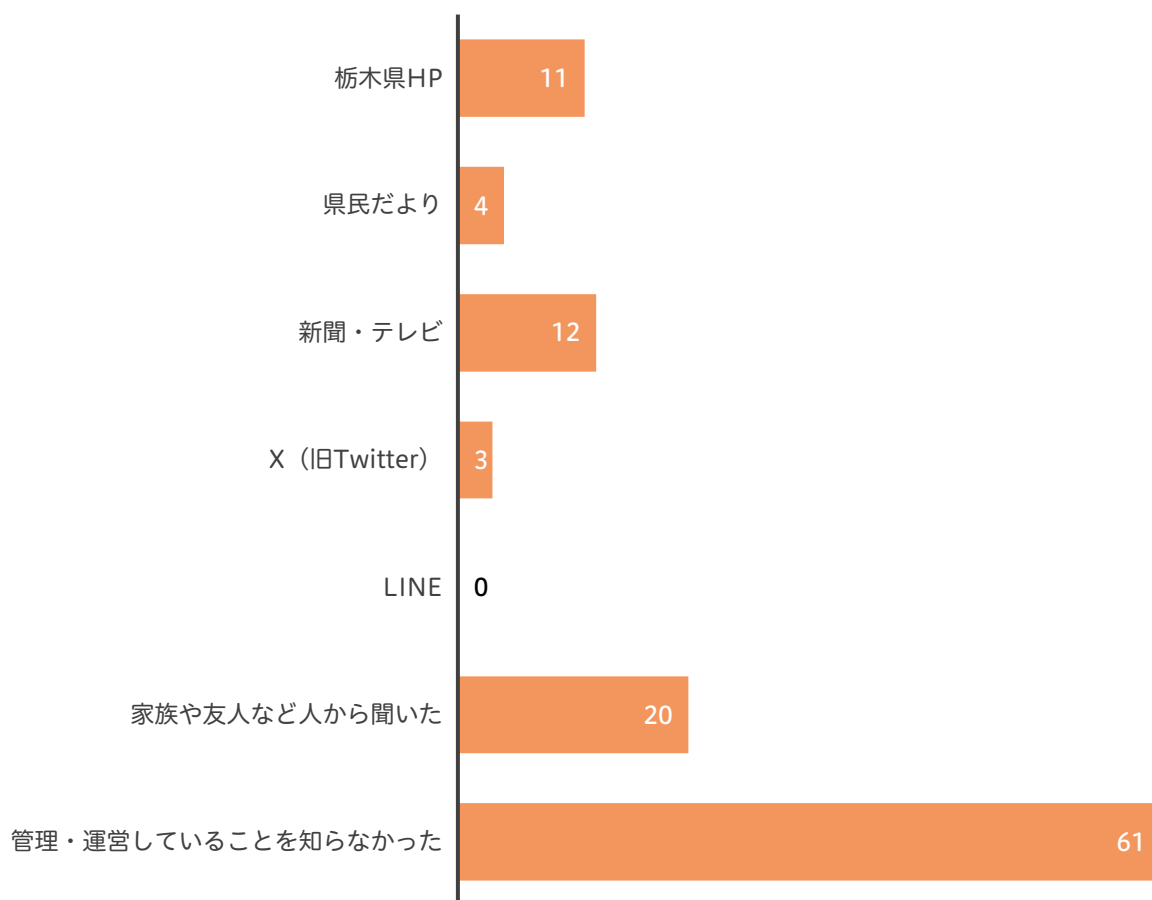
【調査結果の概要】

「こまめに水分をとる」(96 件)が最も多く、次に「エアコンを使う」(86 件)が多く、「汗をかいたら塩分（塩あめ、塩タブレットなど）をとる」(51 件)と「こまめに休憩（きゅうけい）をとる」(51 件)が同数で続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ハンディ扇風機や首元を冷やせる物などを持ち歩く。

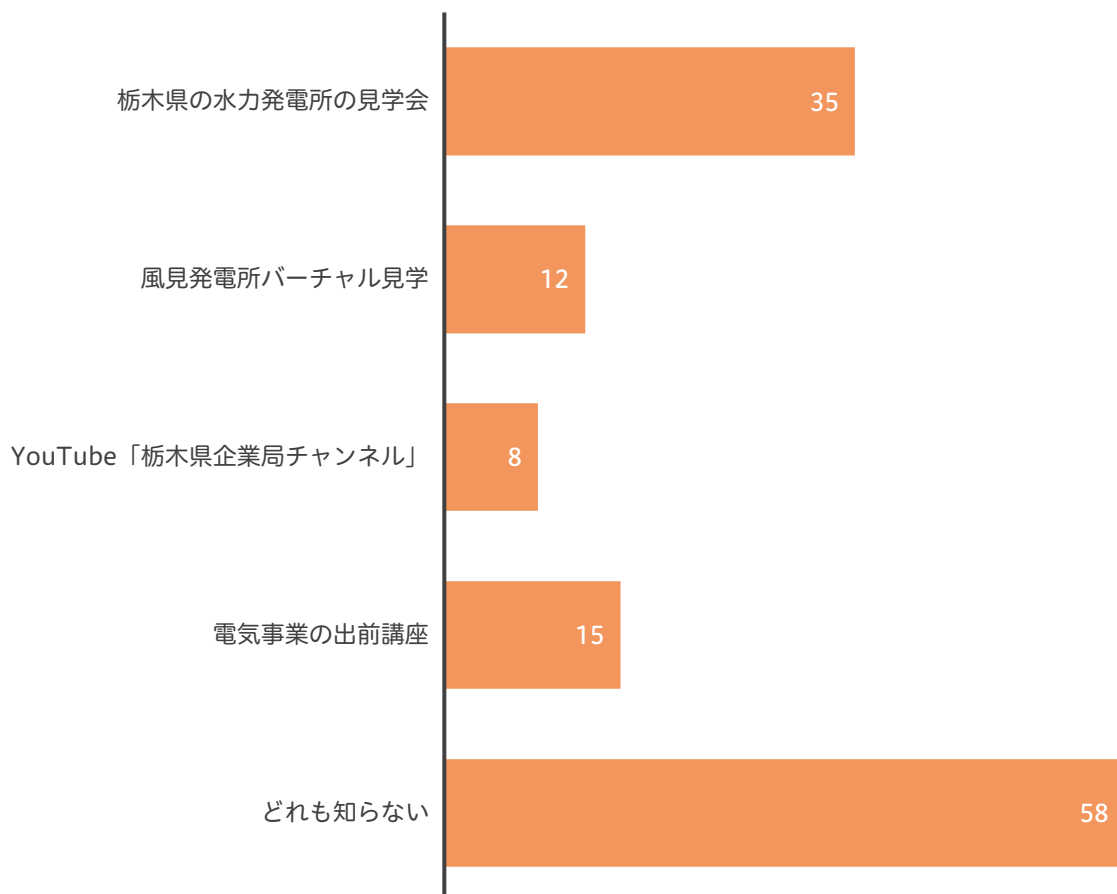
Q15.栃木県は水力発電所を管理・運営していますが、それをどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「管理・運営していることを知らなかった」(61件)が特に多く、以下に「家族や友人など人から聞いた」(20件)、「新聞・テレビ」(12件)、「栃木県HP」(11件)と続いている。

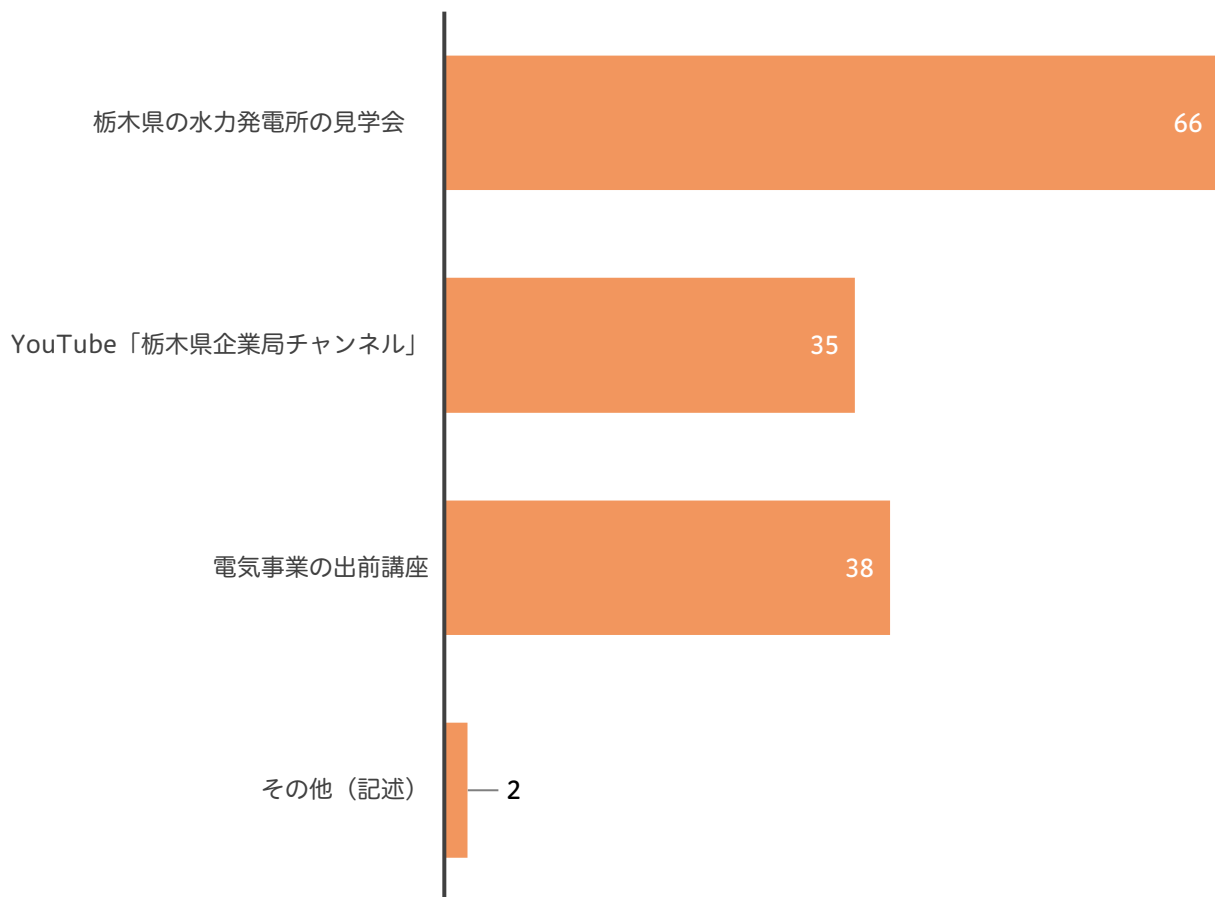
Q16.栃木県の水力発電所について皆さんに知ってもらうため活動を行っています。この中で知っている活動について教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「どれも知らない」(58 件)が特に多く、以下に「栃木県の水力発電所の見学会」(35 件)、「電気事業の出前講座」(15 件)、「風見発電所バーチャル見学」(12 件)、と続いている。

Q17.栃木県の水力発電所を皆さんに知ってもらうための活動について、特に実施してほしいことは何ですか。【いくつでも選んでください】



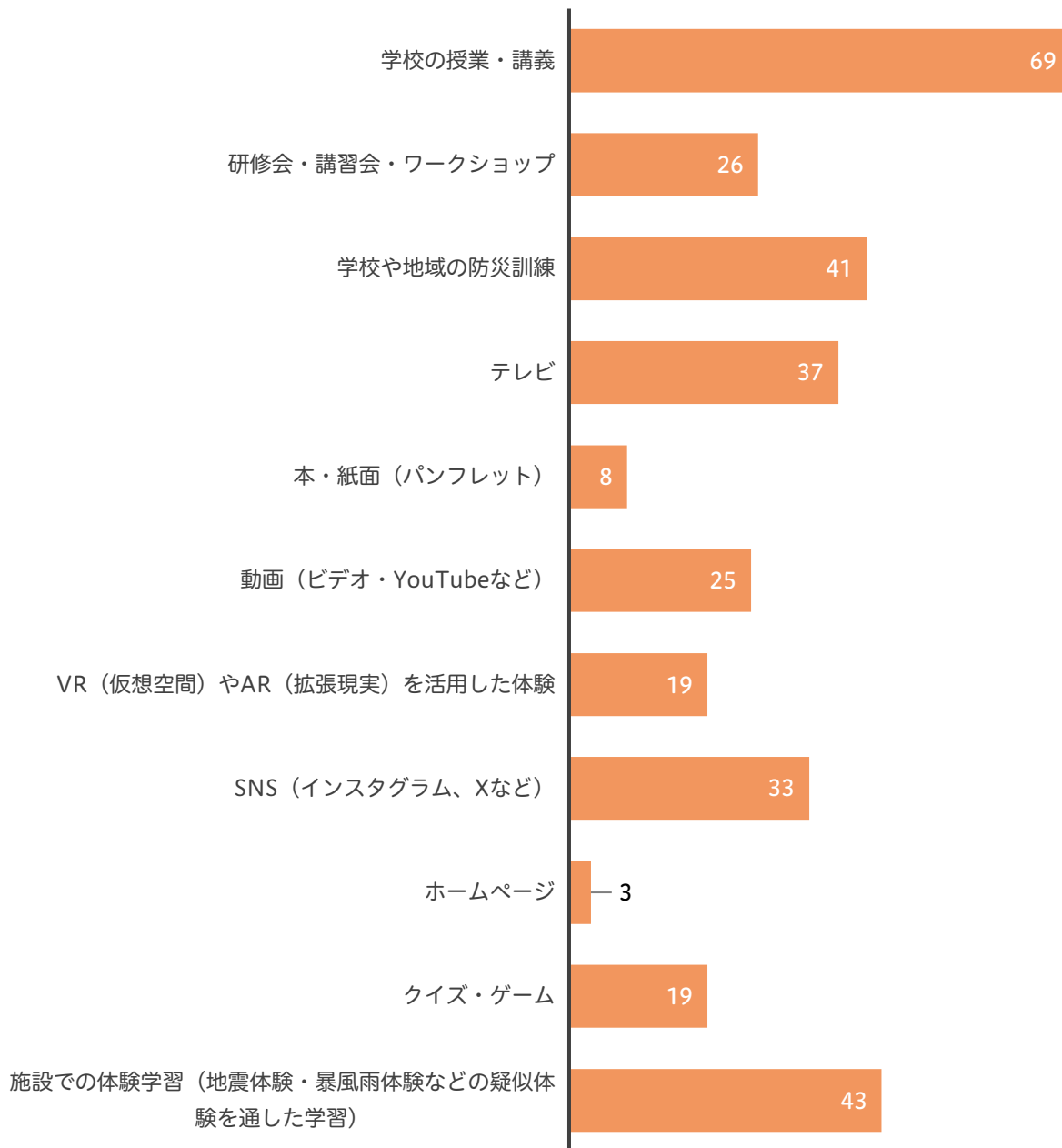
【調査結果の概要】

「栃木県の水力発電所の見学会」（66 件）が最も多く、以下に「電気事業の出前講座」（38 件）、「YouTube『栃木県企業局チャンネル』」（35 件）が続いている。

【その他の自由記述】

- ・ そのダムが実際どれくらい助かっているのかを、sns 等で広める
- ・ いろんなところに広告を貼る

Q18.あなたは、防災について学ぶときにどんな学び方に興味を持ちますか。【いくつでも選んでください】

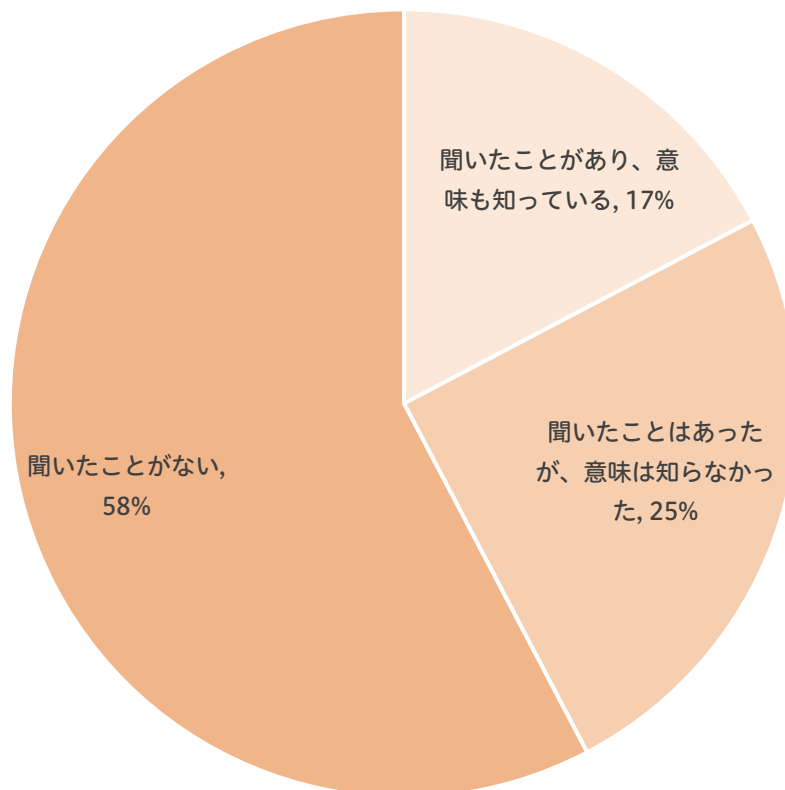


【調査結果の概要】

「学校の授業・講義」（69 件）が特に多く、以下に「施設での体験学習（地震体験・暴風雨体験などの疑似体験を通した学習）」（43 件）、「学校や地域の防災訓練」（41 件）、「テレビ」（37 件）が続いている。

Q19.近年、台風や大雨による災害が増えています。川やダムを管理する人たちだけでなく、流域（りゅういき）に住む全員で、水による災害を減らす取組を「流域治水（りゅういきちすい）」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。

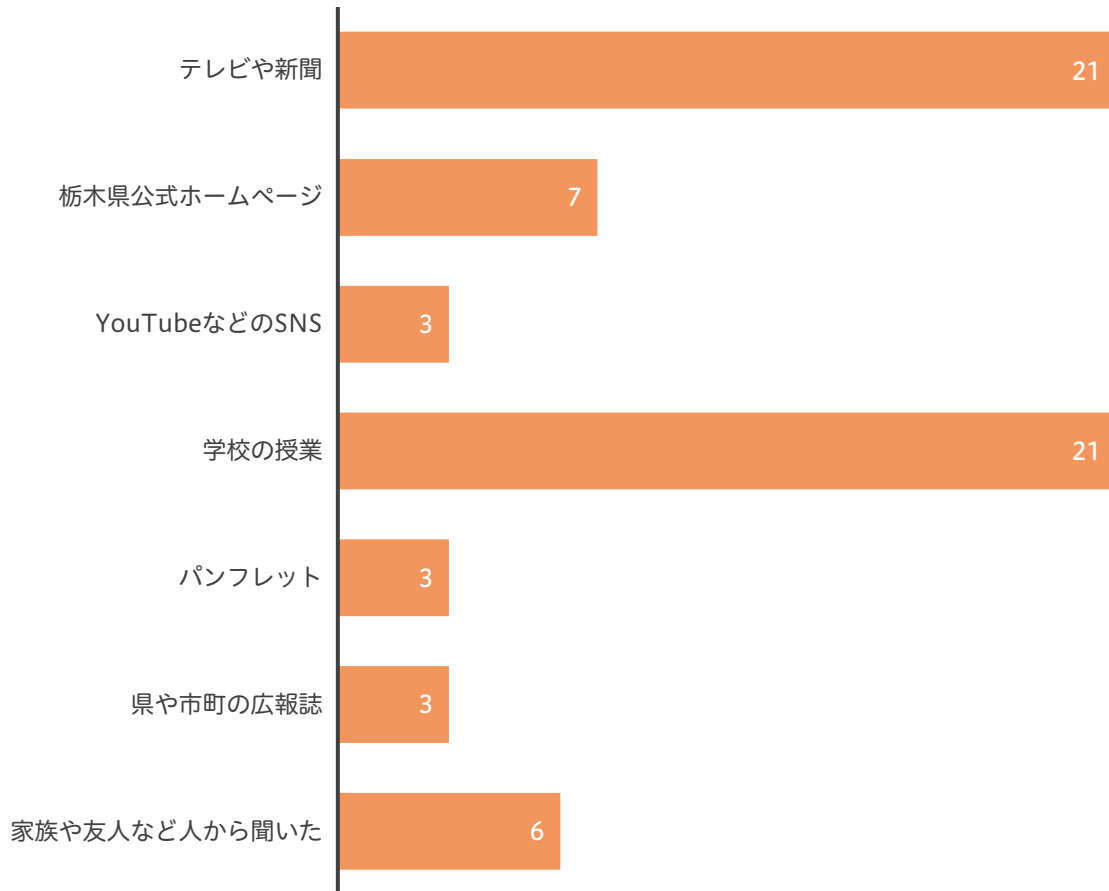
※「流域」とは、降った雨が小さな水路や川を通じて、大きな川に集まる範囲のこと。



【調査結果の概要】

「聞いたことがない」が58%と最も多く、続いて「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」が25%、「聞いたことがあり、意味も知っている」が17%という結果となった。

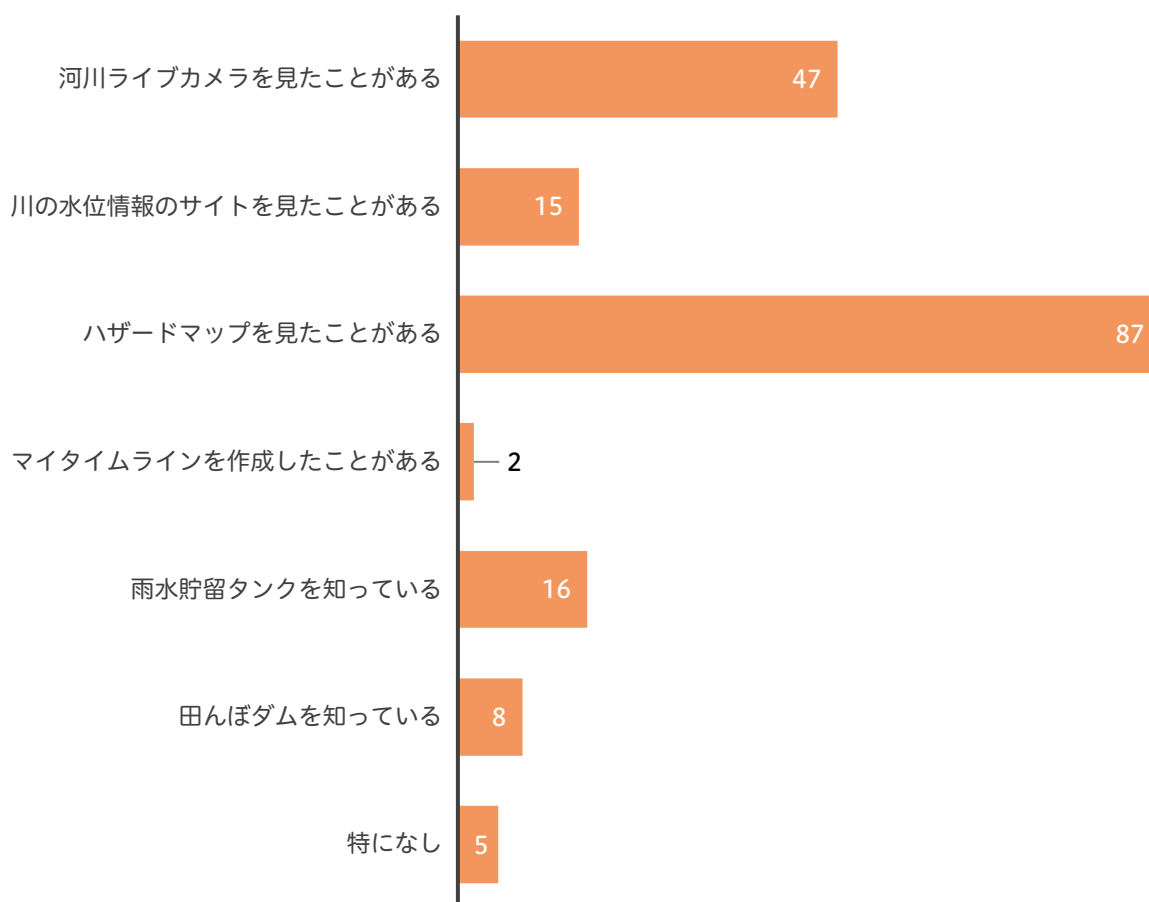
Q20.「Q19」で「聞いたことがあり、意味も知っている」または「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」と答えた人は、何で知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「テレビや新聞」(21 件)と「学校の授業」(21 件)が同数で最も多く、以下に「栃木公式県ホームページ」(7 件)、「家族や友人などから聞いた」(6 件)と続いている。

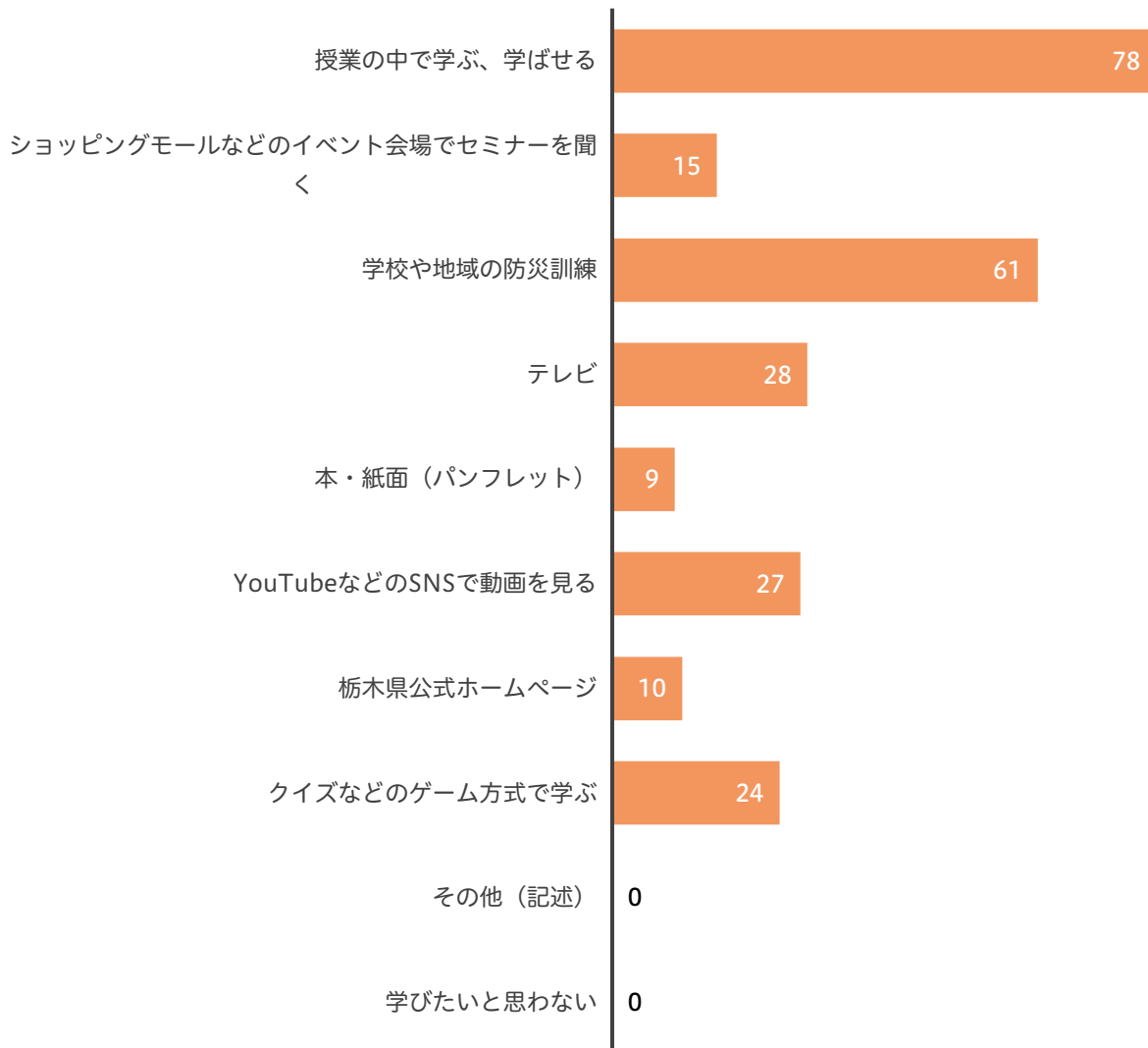
Q21.次の内容のうち、ご自身にあてはまるものはありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「ハザードマップを見たことある」(87件)が特に多く、以下に「河川ライブカメラを見たことがある」(47件)、「雨水貯留タンクを知っている」(16件)、「川の水位情報のサイトを見たことがある」(15件)と続いている。

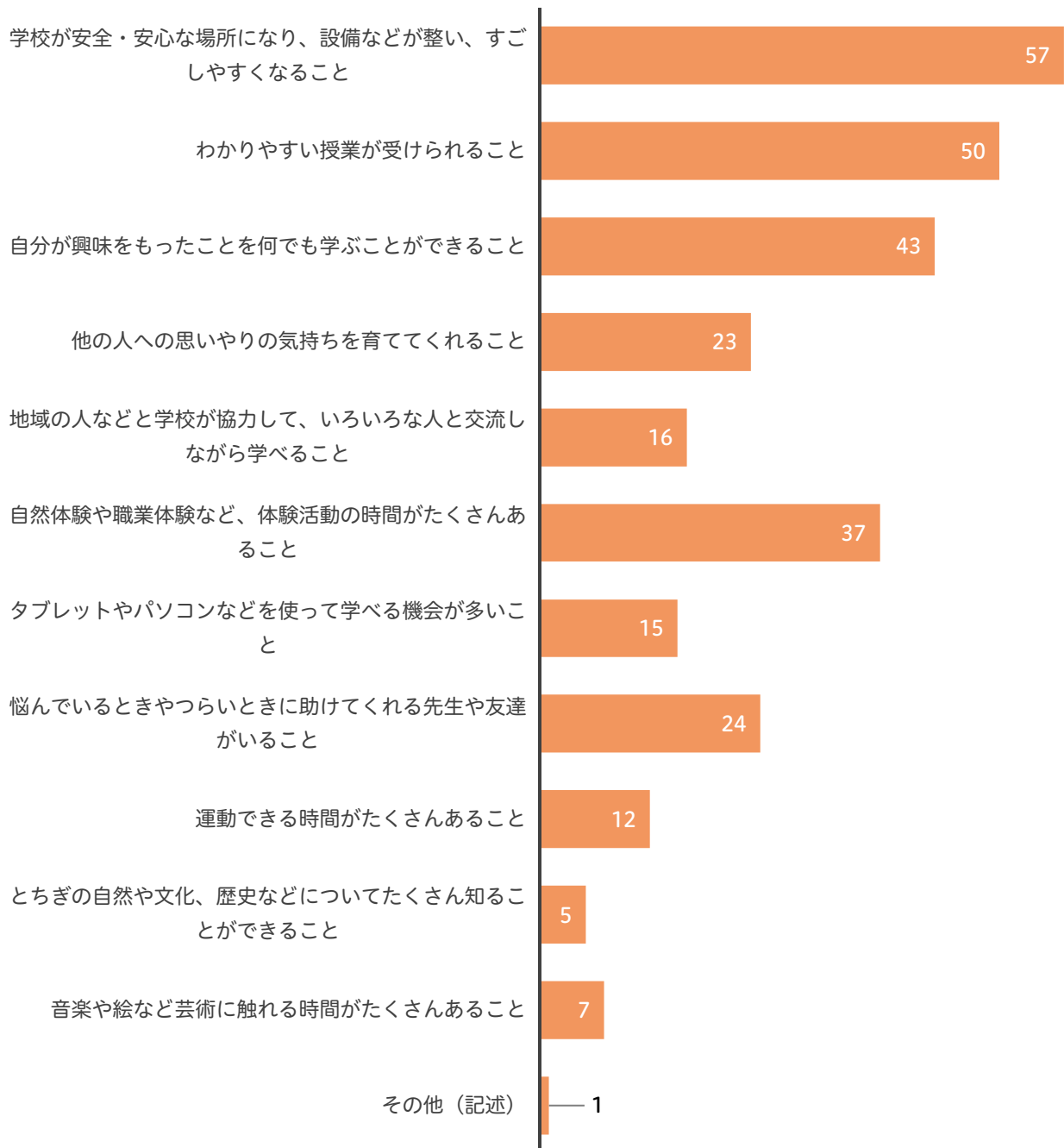
Q22.どんな方法であれば、流域治水について学ぶきっかけになると思いますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「授業の中で学ぶ、学ばせる」（78 件）が最も多く、以下に「学校や地域の防災訓練」（61 件）、「テレビ」（28 件）、「YouTube などの SNS で動画を見る」（27 件）と続いている。

Q23.学校に対して、あなたが特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか。【3つまで選んでください】



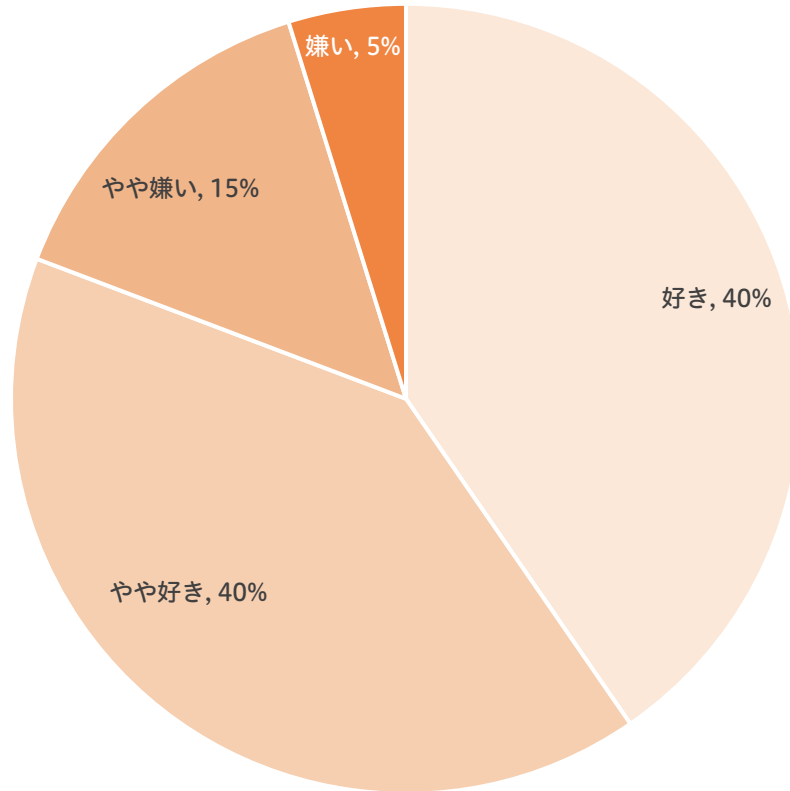
【調査結果の概要】

「学校が安全・安心な場所になり、設備などが整い、すごしやすくなること」（57 件）が最も多く、以下に「わかりやすい授業が受けられること」（50 件）、「自分が興味をもったことを何でも学ぶことができること」（43 件）、「自然体験や職業体験など、体験活動の時間がたくさんあること」（37 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自主的に教材を持ち寄って自分のペースで学びを進められる
- ・ 自分から行動すること

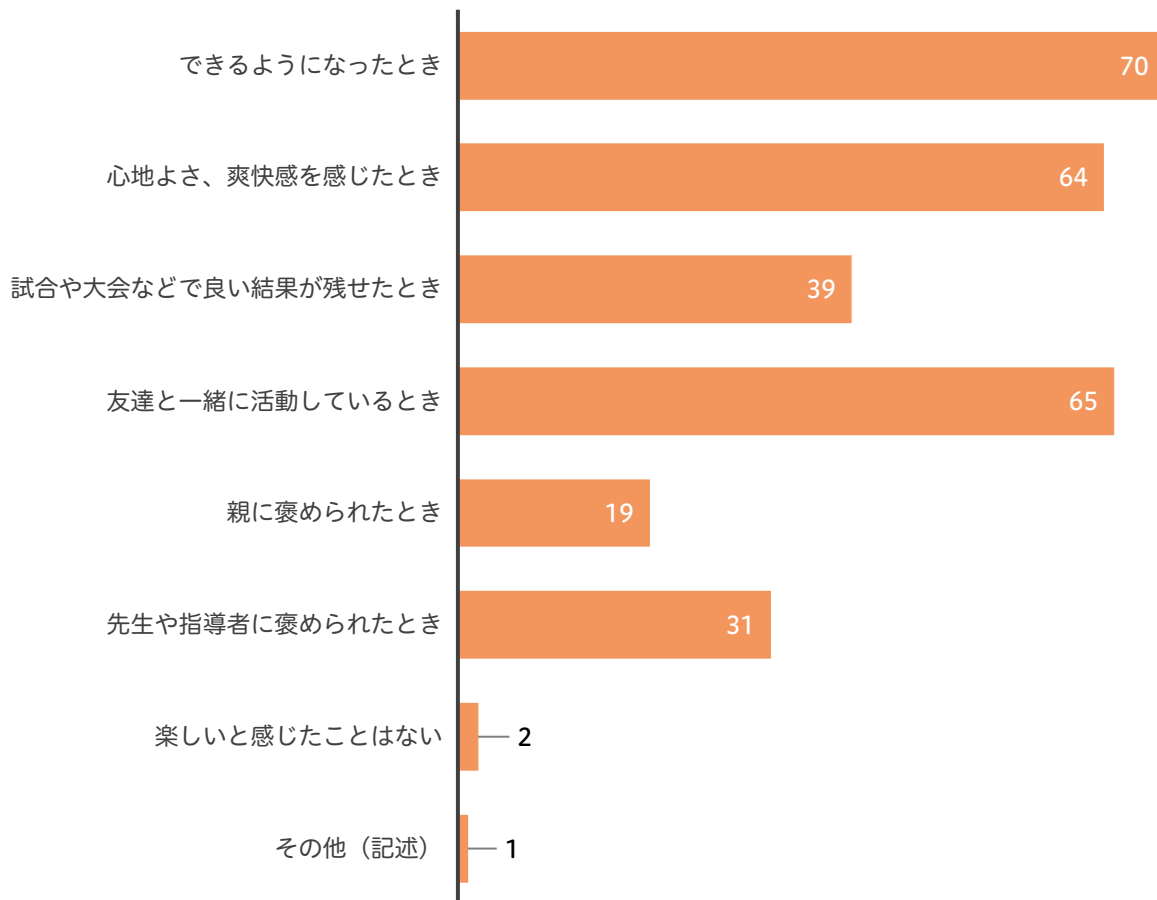
Q24.あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」(40%)と「やや好き」(40%)が同じ割合で最も多く、以下に「やや嫌い」が15%、「嫌い」が5%と続いている。

Q25.あなたは、運動やスポーツをしていてどんなときが楽しいと感じますか。【いくつでも選んでください】



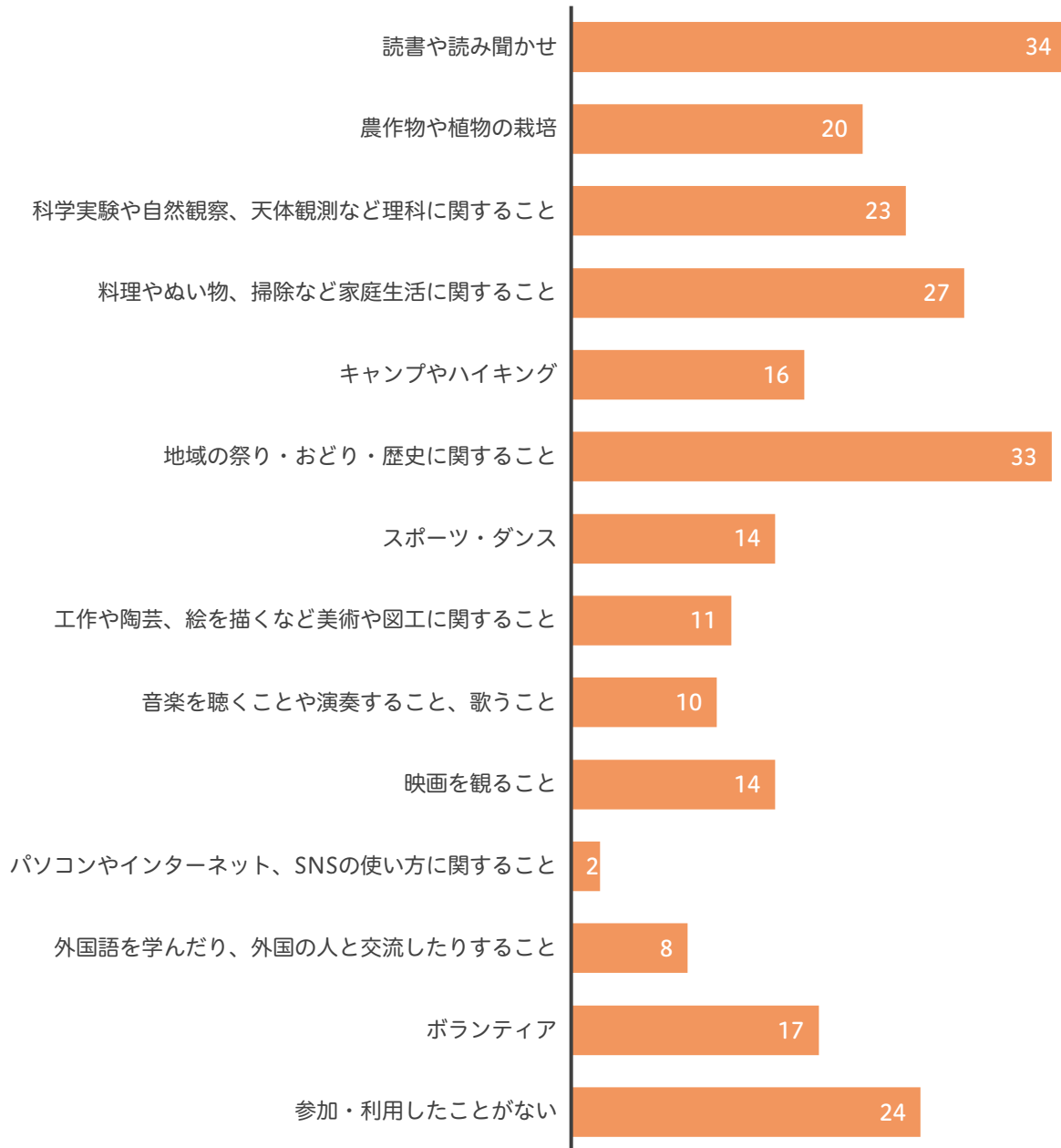
【調査結果の概要】

「できるようになったとき」(70 件)が最も多く、以下に「友達と一緒に活動しているとき」(65 件)、「心地よさ、爽快感を感じたとき」(64 件)、「試合や大会などで良い結果が残せたとき」(39 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 勝った時

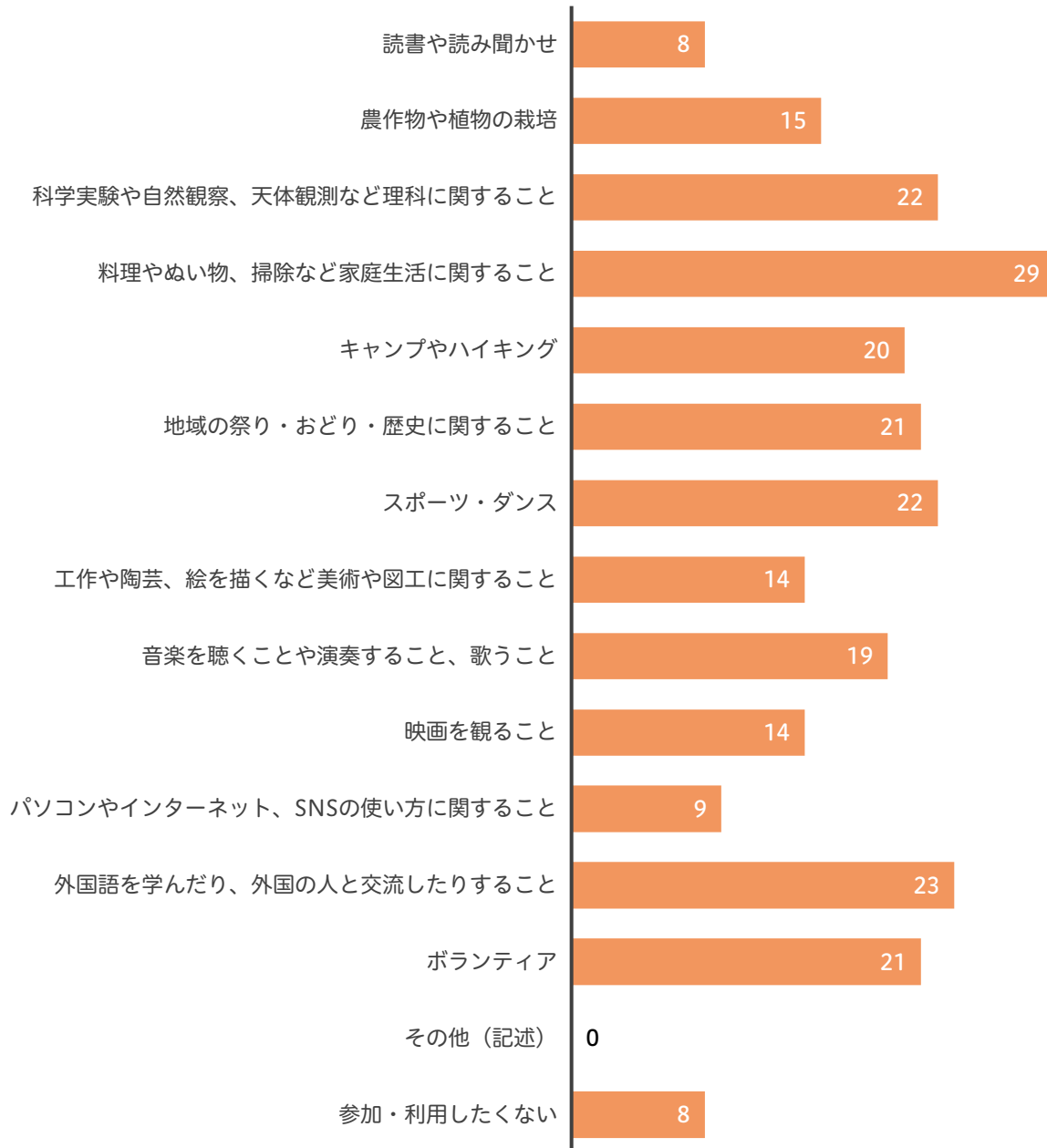
Q26.これまで、地域の公民館や生涯学習センターが実施している講座や教室などで、どのようなものに参加したことがありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「読書や読み聞かせ」(34 件)が最も多く、以下に「地域の祭り・おどり・歴史に関すること」(33 件)、「料理やぬい物、掃除など家庭生活に関すること」(27 件)、「参加・利用したことがない」(24 件)と続いている。

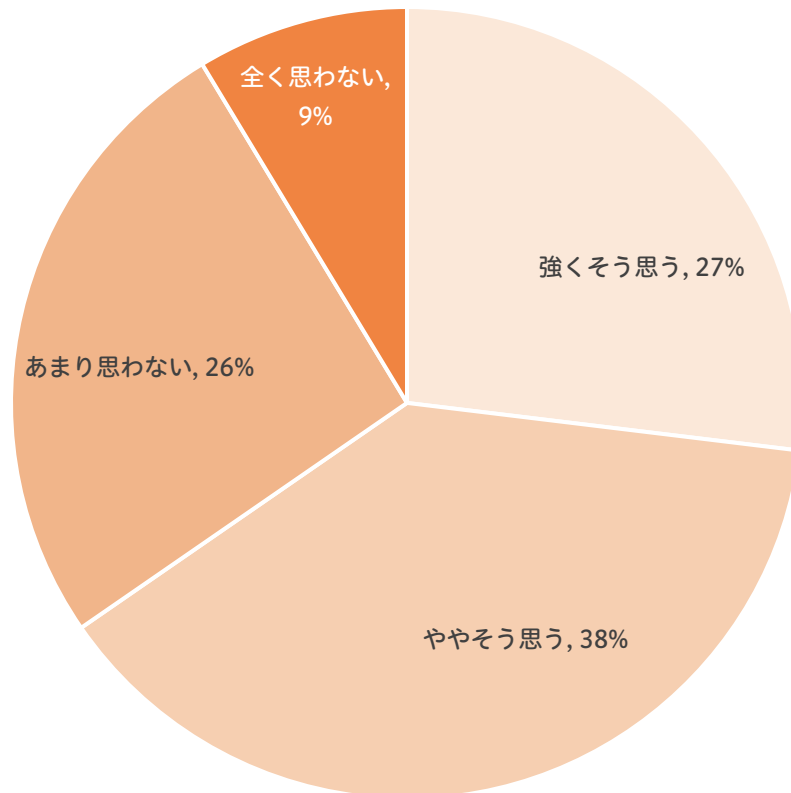
Q27.今後、地域の公民館や生涯学習センターが実施する講座や教室などで、どのようなものに参加してみたいですか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「料理やぬい物、掃除など家庭生活に関すること」（29 件）が最も多く、次に「外国語を学んだり、外国の人と交流したりすること」（23 件）が多く、「科学実験や自然観察、天体観測など理科に関すること」（22 件）、「スポーツ・ダンス」（22 件）が同数で続いている。

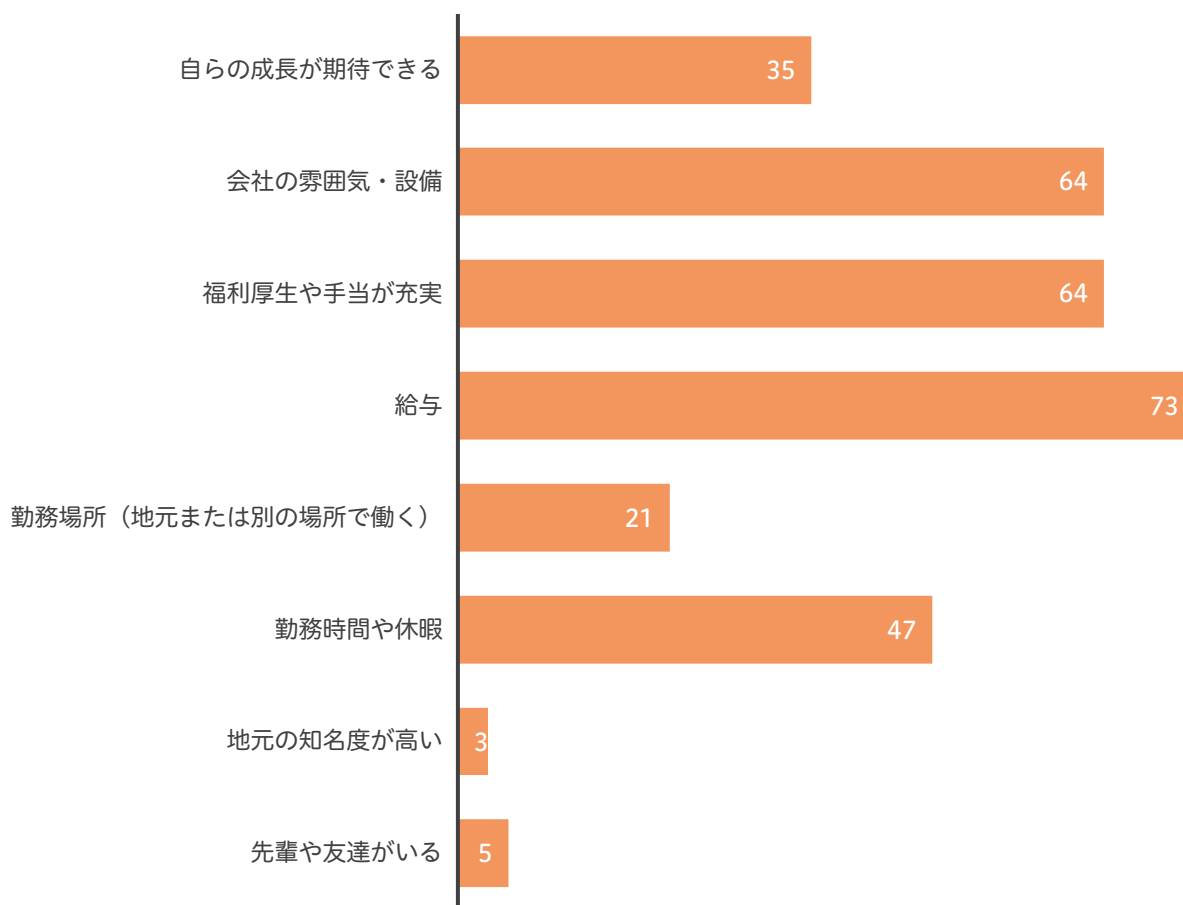
Q28.建設業、製造業、林業、農業などへの進路を考えるために、会社で実際に行う業務の内容、勤務時間、給料、資格取得など、業界ごとの実際の仕事を知りたいですか。



【調査結果の概要】

「ややそう思う」(38%)が最も多く、以下に「強くそう思う」(27%)、「あまり思わない」(26%)と続いている。

Q29.仕事をする上で、大切だと思うことを教えてください。【3つ選んでください】

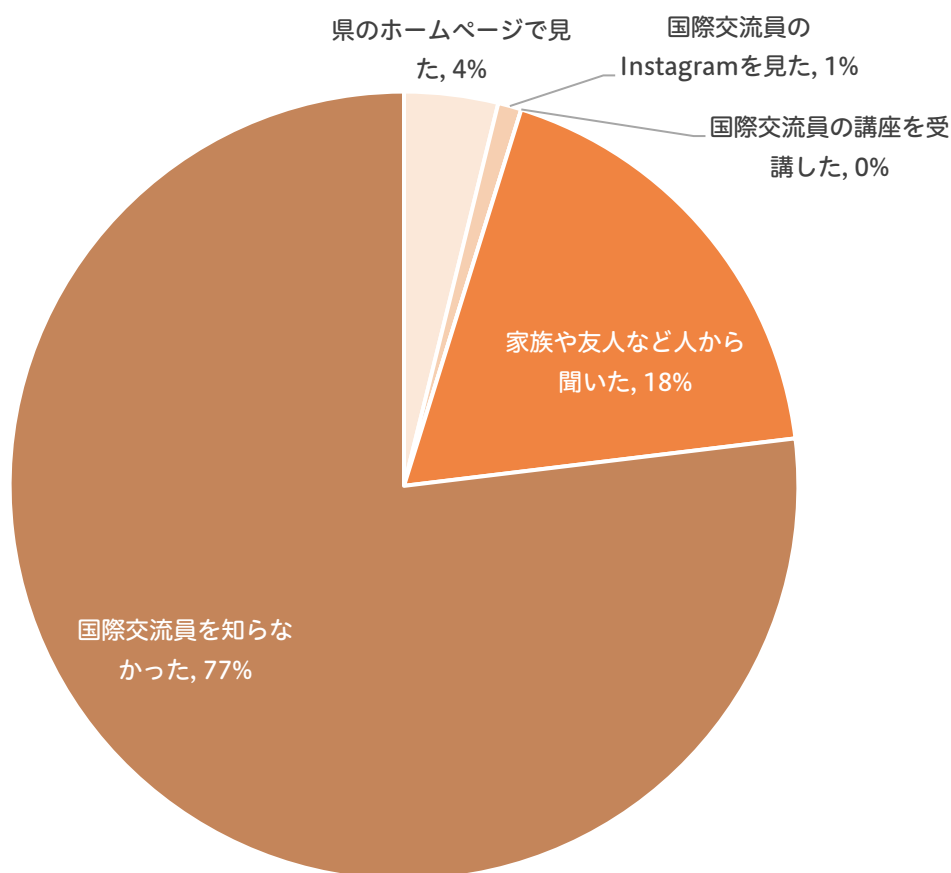


【調査結果の概要】

「給与」（73 件）が最も多く、次に「会社の雰囲気・設備」（64 件）と「福利厚生や手当が充実」（64 件）が同数で続いている。

Q30.国際交流員のことを、何で知りましたか？

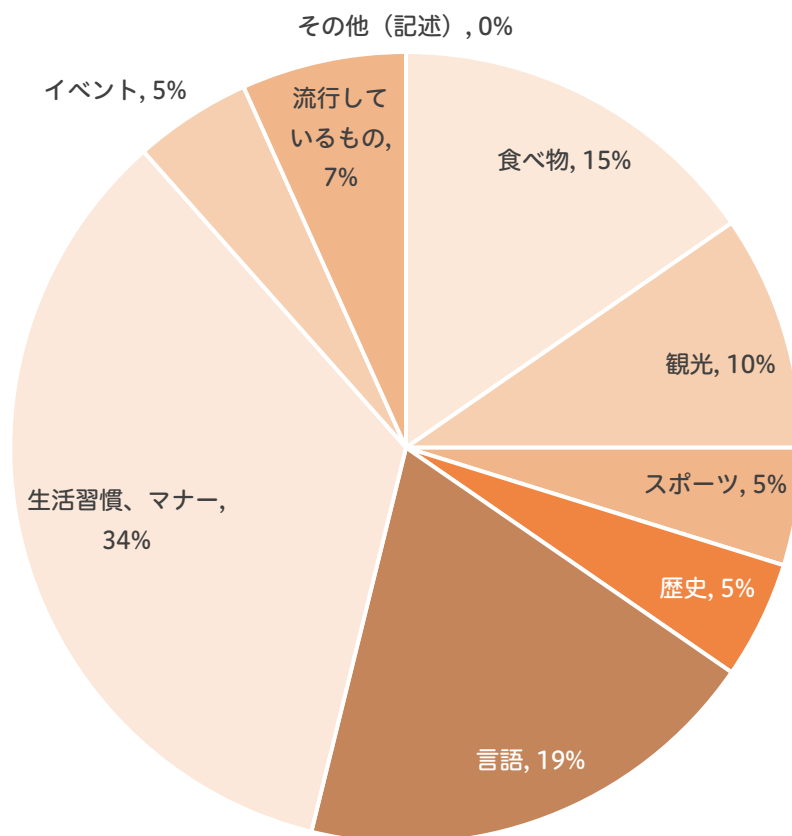
※国際交流員とは、通訳や翻訳、自国の文化紹介などで国際理解を深める活動をする外国人です。



【調査結果の概要】

「国際交流員を知らなかった」(77%)が特に多く、以下に「家族や友人など人から聞いた」(18%)、「県のホームページで見た」(4%)と続いている。

Q31.栃木県にはアメリカ人と中国人の国際交流員が働いています。国際交流員から自国の文化紹介をしてもらうなら、何を教えてほしいですか？

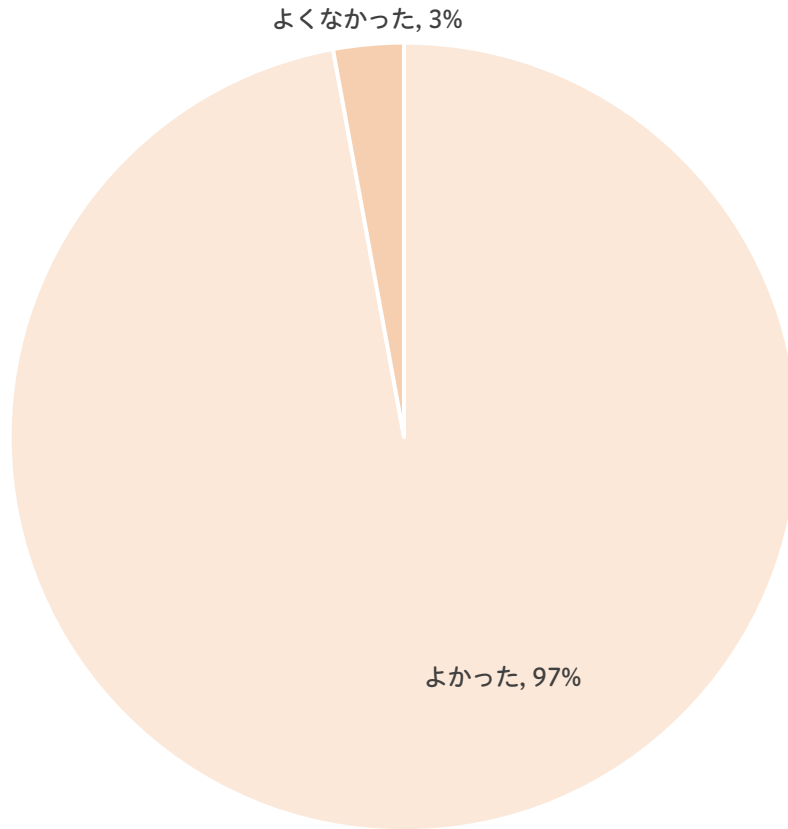


【調査結果の概要】

「生活習慣、マナー」(34%)が最も多く、以下に「言語」(19%)、「食べ物」(15%)、「観光」(10%)と続いている。

こどもモニターの満足度についてのアンケート

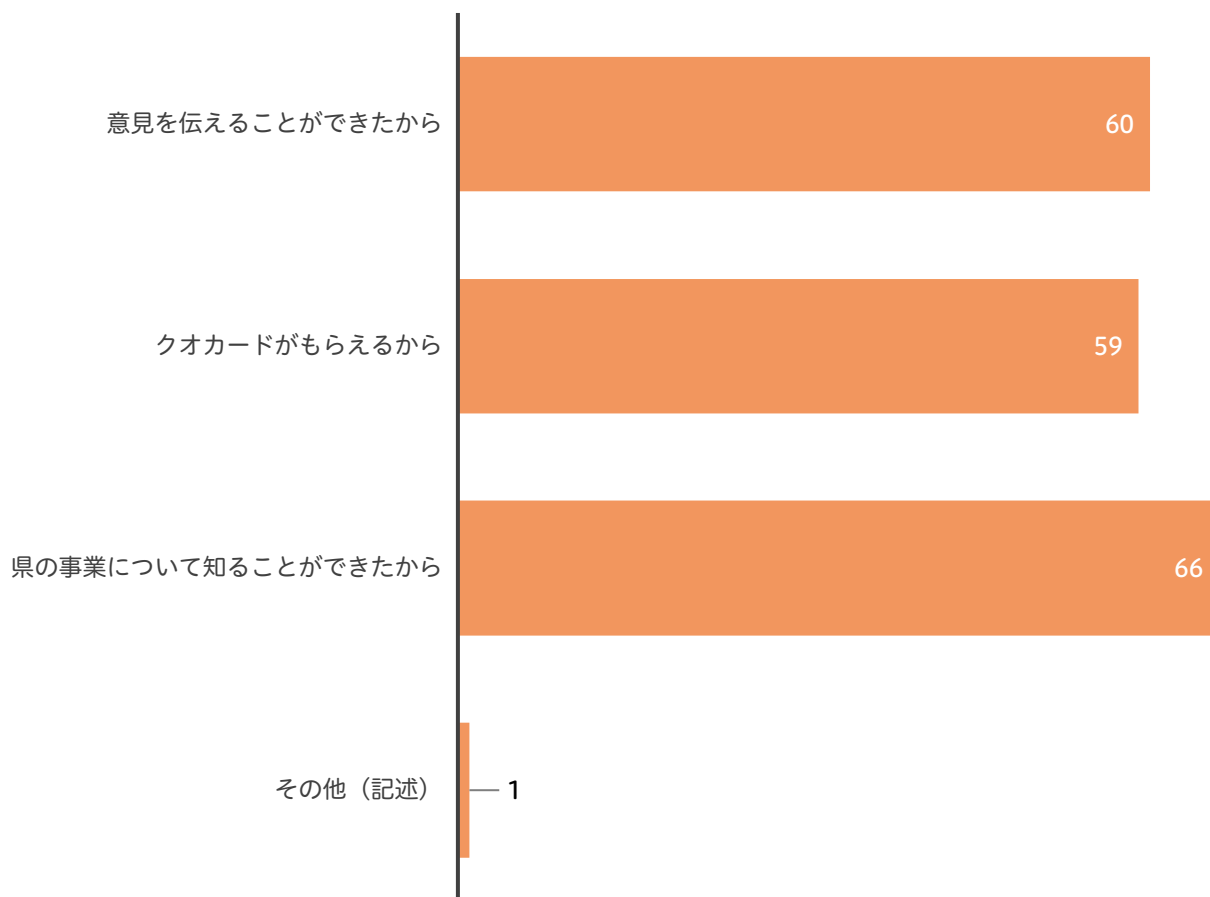
Q1.こどもモニターに参加して良かったと思いますか。



【調査結果の概要】

「良かった」が97%と大半を占めており、「よくなかった」が3%という結果となった。

Q2.「Q1」で、「よかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつでも選んでください】



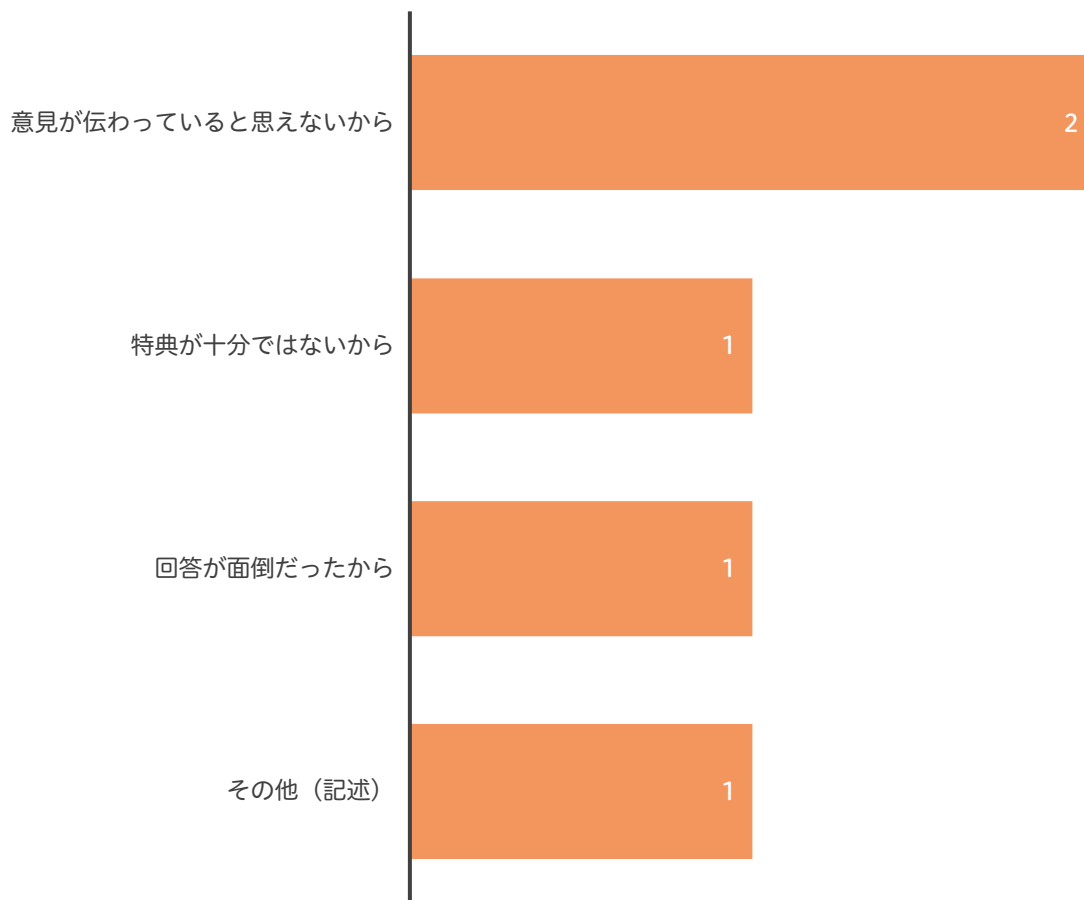
【調査結果の概要】

「県の事業について知ることができたから」（66 件）が最も多く、以下に「意見を伝えることができたから」（60 件）、「クオカードがもらえるから」（59 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 少し県民として役にたてたかなと

Q3.「Q1」で、「よくなかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつでも選んでください】



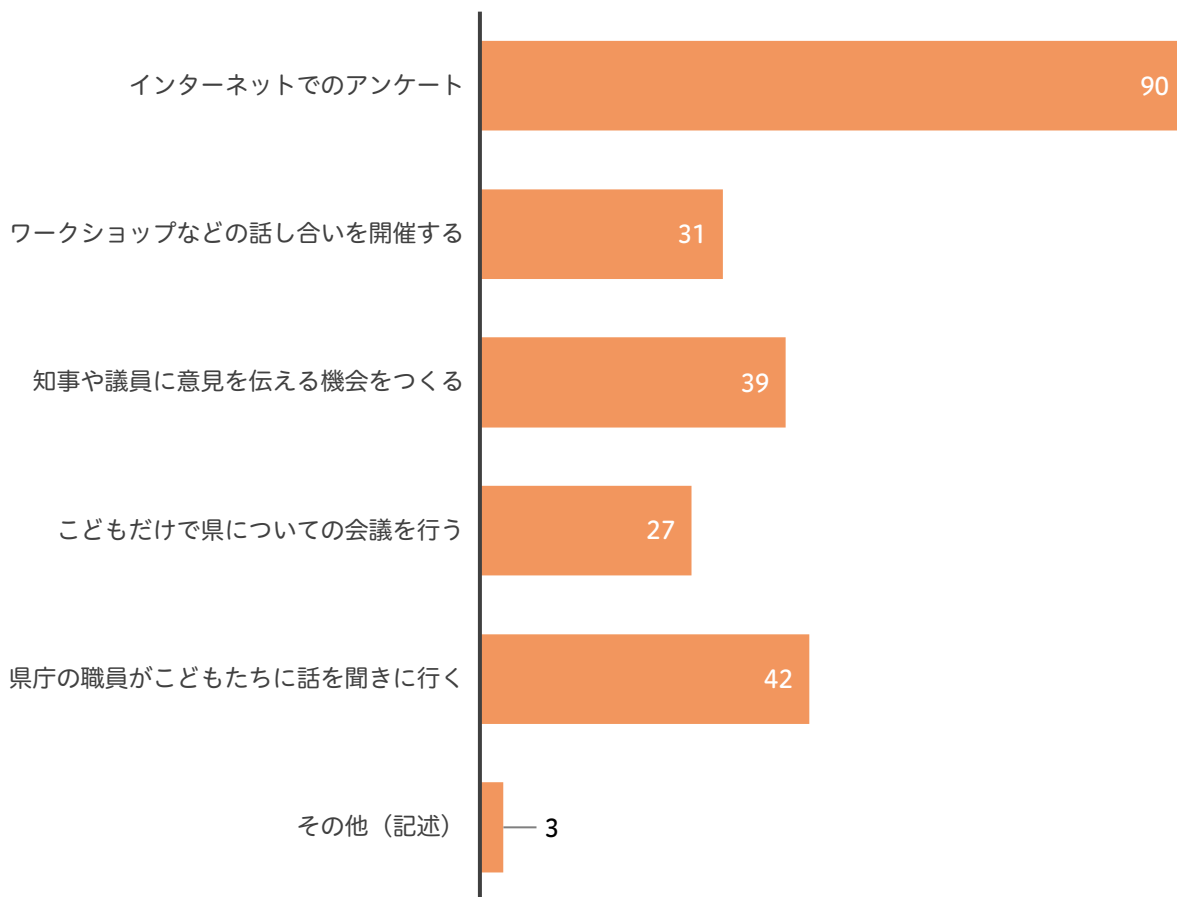
【調査結果の概要】

「意見が伝わっていると思えないから」(2件)が最も多く、次に「特典が十分ではないから」(1件)、「回答が面倒だったから」(1件)、「その他」(1件)が同数で続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 出来レース感があったため

Q4.こども、若者、保護者から意見を聞く方法として、よいと思うものはどれですか。【3 つまで選んでください】



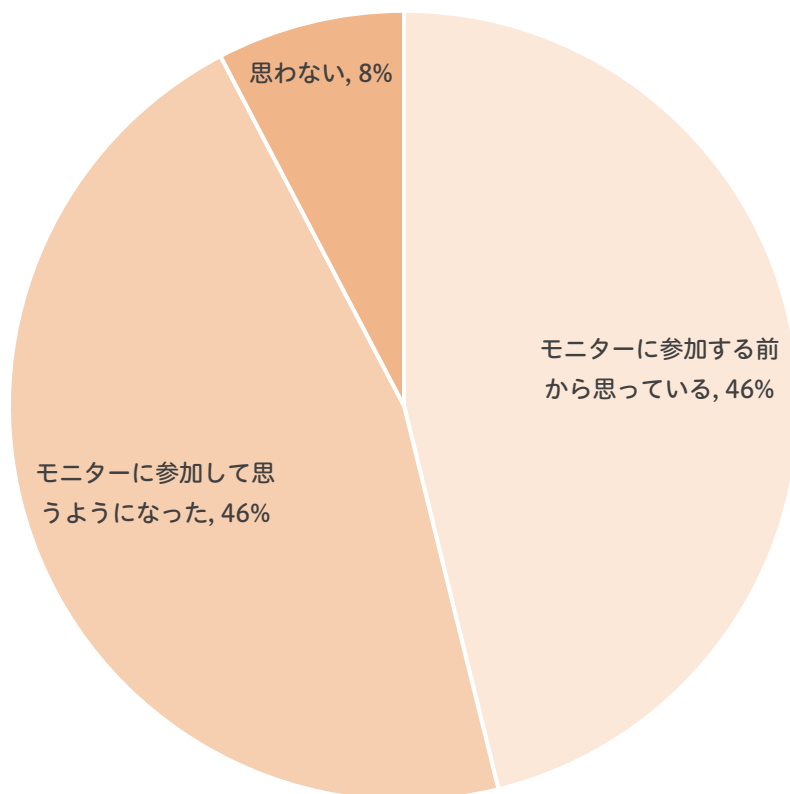
【調査結果の概要】

「インターネットでのアンケート」(90 件)が特に多く、以下に「県庁の職員がこどもたちに話を聞きに行く」(42 件)、「知事や議員に意見を伝える機会をつくる」(39 件)、「ワークショップなどの話し合いを開催する」(31 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 知事にアクセスをもっと広める
- ・ 学校の講座の中に県についての講座を作ってそこで県職員が生徒や先生に話を聞く
- ・ 学校でアンケートを取る

Q5.「自分が社会の一員である」と思いますか。



【調査結果の概要】

「モニターに参加して思うようになった」(46%)と「モニターに参加する前から思っている」(46%)が同じ割合で、「思わない」が8%という結果となった。